

令和 7 年度版

水道統計年報

令和 7 年 11 月

宇治市上下水道部

令和7年度版 宇治市水道統計年報

目 次

1. 宇治市水道事業のあゆみ	1
2. 水道の概要	
1) 規模	4
宇治市上水道施設配置図	5
2) 拡張経過	6
3) 水道事業の推移	7
4) 配水量の分析	8
3. 水道施設	
1) 施設及び内容	9
2) 施設系統図	22
4. 統計	
1) 年間配水量	23
2) 水道水水質検査結果（給水）	24
3) 給水工事受付状況	25
4) 水道使用料調定状況（税込み）	26
5) 加入金調定状況（税込み）	27
5. 水道の財政	
1) 損益計算書（税抜き）	28
2) 資本的収入及び支出（税込み）	29
3) 貸借対照表（税抜き）	30
4) 費用構成比（税抜き）	32
5) 経営・財務分析に関する調べ	34
6. 水道料金等の変遷	
1) 水道使用料	36
2) メーター使用料	41

3) 加 入 金 4 2

7. 組 織 機 構 4 3

1. 宇治市水道事業のあゆみ

令和7年4月1日現在

年 月	沿 革
昭和25年 4月	旧陸軍火薬製造所の軍用水道の施設を転用し、市内一部に給水を開始。
26年 3月	2町3村合併により宇治市上水道となる。
32年 3月	神明浄水場(昭和18年竣工)を旧日国工業㈱から寄付を受ける。
34年 3月	小倉台浄水場を旧奈良電気鉄道㈱から寄付を受ける。
36年 1月	大蔵省(当時)所管宇治浄水場の施設の無償移管を受ける。
36年12月	市内全域の給水地域を対象とする上水道施設第1次拡張計画の事業認可を受け、拡張工事に着手。 計画給水人口：50,000人 1日最大給水量：12,500m ³
37年 4月	御蔵山簡易水道の施設を京阪電鉄㈱から寄付を受ける。
38年 4月	地方公営企業法財務適用
39年11月	天ヶ瀬ダム完成
39年12月	京都府営山城水道 竣工
40年 3月	下居配水池および下居ポンプ場 竣工
40年 6月	京都府営水道より受水開始
41年 5月	東山配水池 竣工
42年 3月	志津川簡易水道施設 竣工
42年 4月	地方公営企業法の全部適用
42年 5月	水道料金調定業務を電算化
43年 3月	給水能力不足のため給水制限 上水道施設第2次拡張計画の事業認可を受け、拡張工事に着手。 計画給水人口：108,000人 1日最大給水量：45,900m ³
46年 9月	森本ポンプ場 竣工
46年12月	高峰山配水池 竣工
47年 7月	須留配水池・広岡谷ポンプ場 竣工
48年 3月	上水道施設第3次拡張計画の事業認可を受け、拡張工事に着手。 計画給水人口：168,600人 1日最大給水量：84,300m ³
48年 8月	御蔵山簡易水道 廃止
50年 5月	志津川簡易水道 上水道に統合
50年 6月	琵琶配水池および琵琶ポンプ場 竣工

年 月	沿 革
昭和50年 8月	奥広野浄水場(昭和45年10月 竣工)を興人(株)から寄付を受ける。
51年 3月	上水道施設第4次拡張計画の事業認可を受け、拡張工事に着手。 計画給水人口：175,000人 1日最大給水量：101,500m ³
51年 9月	明星町浄水施設をアオバ開発(株)から寄付を受ける。
52年 7月	新宇治浄水場 供用開始
53年10月	開浄水場 竣工
55年 4月	水道事業管理者設置
56年 6月	五ヶ庄配水池および五ヶ庄ポンプ場 竣工
57年 3月	折居台配水池および折居台加圧ポンプ場 竣工
57年 4月	水道料金収納業務電算化
57年12月	現水道庁舎 竣工
59年 8月	下水道事業面整備工事に伴う水道管移設工事の受託を開始。
59年11月	笠取簡易水道施設 竣工(昭和60年1月より本格給水)
60年 2月	羽戸山配水池および羽戸山加圧ポンプ場 竣工
60年 6月	上水道施設第5次拡張計画の事業認可を受け、拡張事業に着手。 計画給水人口：194,200人 1日最大給水量：92,245m ³
62年 4月	京都府が南部広域的水道施設整備事業に着手。 下水道料金の調定収納業務を受託。
63年 8月	平尾台配水池および平尾台加圧ポンプ場・平尾台ポンプ場 竣工
平成元年 5月	西小倉浄水場 竣工 小倉台浄水場 廃止
2年 3月	上水道施設第5次拡張計画の変更認可。(給水区域の拡張)
4年 3月	上水道施設第6次拡張計画の事業認可を受け、拡張工事に着手。 計画給水人口：199,000人 1日最大給水量：101,700m ³
5年 4月	電算システム(設計積算、財務会計)稼働
5年 7月	広野町配水池および広野町加圧ポンプ場 竣工
7年 4月	ハンディターミナルによる検針システム導入。
8年10月	白川加圧ポンプ場 竣工
9年 4月	炭山地区への上水道給水開始。 住宅・都市整備公団より槇島浄水場の移管を受ける。

年 月	沿 革
平成11年 8月	水道広報紙「水道だより」創刊
12年 6月	池尾地区(飲料水供給施設事業)への給水開始。
	二尾地区(簡易水道事業)への給水開始。
14年 3月	「宇治市水道事業中・長期整備計画」策定
	明星町ポンプ場 改築更新、明星町配水池 竣工
15年 3月	給水マップ作成
15年 4月	マッピングシステム稼働
16年 3月	緊急時における相互分水事業(京都市)開始。＜接続工事完了＞
19年 4月	槇島浄水場 休止
22年 3月	「宇治市地域水道ビジョン」策定
23年 2月	上水道施設第6次拡張計画の事業認可変更。(第1回) 計画給水人口：192,000人 1日最大給水量：71,000m ³
24年 4月	上下水道部発足(水道部と下水道室の組織統合)
25年 4月	水管理センター発足(浄水管理センターと東宇治浄化センターの組織統合)
26年 6月	笠取簡易水道施設のうち2浄水場の廃止及び笠取地区への上水道給水開始。
27年 4月	簡易水道事業・飲料水供給施設事業を、上水道事業に統合。
28年 4月	上下水道事業管理者廃止
29年 3月	上水道施設第6次拡張計画の事業認可変更。(第2回) 計画給水人口：188,000人 1日最大給水量：63,000m ³
令和2年 4月	開浄水場 休止
3年 3月	「宇治市水道事業ビジョン・経営戦略」策定
	広野町浄水場 竣工
3年 4月	奥広野浄水場・神明高区配水池 廃止
	水道検針業務を民間事業者へ委託開始。
4年 9月	水道施設台帳システム導入
5年 3月	神明浄水場 廃止
6年 3月	上水道施設第6次拡張計画の軽微な変更届出。(第3回) 計画給水人口：181,000人 1日最大給水量：62,000m ³
6年 4月	上下水道部組織再編 窓口の集約、経理・総務部門の統合、施設整備と維持・管理業務の統合。
	水道窓口等業務を民間事業者へ委託開始。

2. 水 道 の 概 要

(令和7年3月31日現在)

1) 規模

1. 給 水 区 域 六地藏、平尾台、羽戸山、明星町、琵琶台、折居台、天神台、神明、開町、羽拍子町、南陵町、寺山台及び大久保町の全域並びに木幡、五ヶ庄、菟道、志津川、槇島町、宇治、白川、広野町、小倉町、伊勢田町、安田町、炭山、東笠取、西笠取、二尾及び池尾の一部

2. 給 水 能 力 90,408.8 m³/日

自己水源	宇治浄水場	20,700 m ³ /日
	西小倉浄水場	5,000 m ³ /日
	広野町浄水場	2,200 m ³ /日
	池尾浄水場	8.8 m ³ /日

受 水	京都府営水道	62,500 m ³ /日
-----	--------	--------------------------

凡例
半沼泽水塘配水区
西小禽养水塘配水区
附营水、立群附水塘混合配水区
附营水、半沼泽水塘混合配水区
附营水配水区
池苑附水塘配水区
航水区域

令和7年3月31日 現在

2) 拡張経過

工 種	許 可 年 月 日	起 工 年 月	竣 工 年 月	工 費	基 本 計 画			備 考
					給水人口	1 人 1 日 最大給水量	1 日 最大 給 水 量	
				千円	人	L	m ³	
宇治浄水場創設	S25.4.19	S25.4		31,000				旧陸軍施設を転用
神明浄水場創設	S32.3.30	S32.10	S33.3	15,800	4,000	120	480	旧日国工業(株)から 寄付 令和5年3月廃止
神明浄水場系統 配 水 管 拡 張	S32.12.3	S32.12	S33.4	10,854	4,000	120	480	
小倉台浄水場創設	S34.3.7	S34.3	S34.4	5,108	900	180	162	旧奈良電気鉄道 (株)から寄付 平成元年5月廃止
宇治浄水場系統 配 水 管 拡 張	S35.1.8	S36.2	S37.3	20,786	20,000	250	5,000	
神明浄水場系統 配 水 管 拡 張	S36.9.18	S36.7	S36.8	575	7,400	174	1,294	
神明浄水場系統 配 水 管 拡 張	S36.12.5	S37.2	S37.6	3,757	8,000	200	1,600	
御蔵山簡易水道	S38.3.18				2,500	180	450	昭和48年8月廃止
志津川簡易水道	S41.5.25	S41.9	S42.3	8,837	600	150	90	昭和50年5月10日 上水に統合
上 水 道 施 設 第 1 次 拡 張	S36.12.28	S37.4	S40.3	195,199	50,000	250	12,500	目標年次 昭和45年
上 水 道 施 設 第 2 次 拡 張	S43.3.1	S43.4	S48.3	1,280,375	108,000	425	45,900	目標年次 昭和50年
上 水 道 施 設 第 3 次 拡 張	S48.3.31	S48.4	S50.3	903,232	168,600	500	84,300	目標年次 昭和55年
上 水 道 施 設 第 4 次 拡 張	S51.3.15	S51.4	S61.3	3,613,709	175,000	580	101,500	目標年次 昭和60年
上 水 道 施 設 第 5 次 拡 張	S60.6.26	S60.6	H6.3	3,513,288	194,200	475	92,245	目標年次 平成5年
上 水 道 施 設 第 6 次 拡 張	H4.3.26	H4.4		6,991,482	199,000	511	101,700	継続実施
上 水 道 施 設 第 6 次 拡 張 変 更	H23.2.2	H23. 4		760,619	192,000	370	71,000	認可変更(第1回)
上 水 道 施 設 第 6 次 拡 張 変 更	H29.3.16	H29. 4		759,000	188,000	334	63,000	認可変更(第2回)
上 水 道 施 設 第 6 次 拡 張 変 更	R6.3.18	R6.6		0	181,000	339	62,000	軽微な変更届出 (第3回)

3) 水道事業の推移

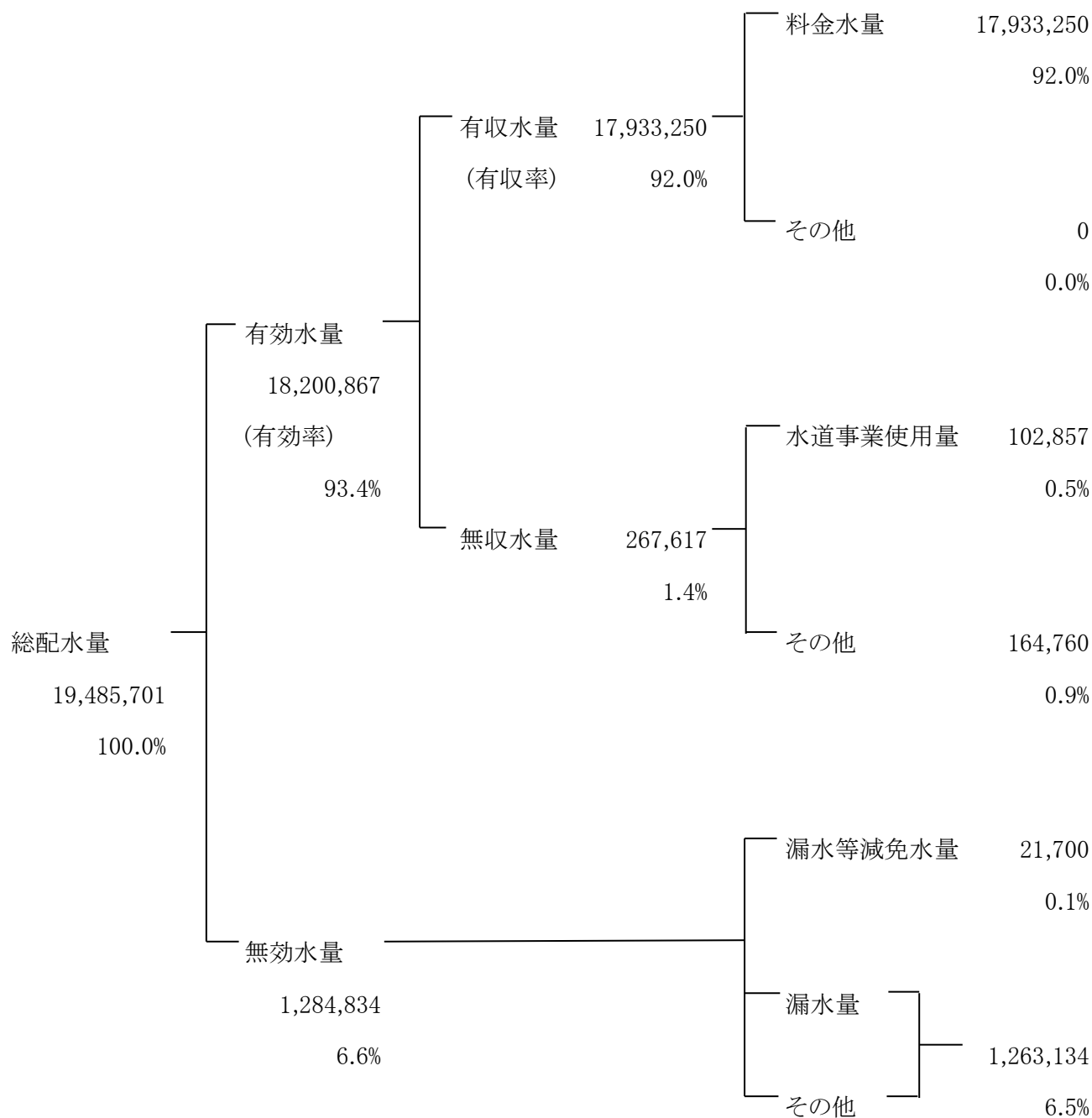
年度 項目		R2	R3	R4	R5	R6
行政区域 内人口	人口 (人)	184,432	182,841	181,616	180,210	178,893
	(A) 戸数 (戸)	84,818	84,791	85,286	85,832	86,236
給水人口	人口 (人)	183,530	181,960	180,756	179,362	178,164
	(B) 戸数 (戸)	84,002	83,996	84,512	85,069	85,592
普及率	人口 (%)	99.5	99.5	99.5	99.5	99.6
	(B/A) 戸数 (%)	99.0	99.1	99.1	99.1	99.3
年間総配水量(C) (m³)		21,108,488	20,553,068	20,105,868	19,735,971	19,485,701
うち府営水道 配水量 (m³)		14,824,109	14,018,811	14,037,089	13,479,865	13,267,927
うち自己水源 配水量 (m³)		6,284,379	6,534,257	6,068,779	6,256,106	6,217,774
年間有収水量(D) (m³)		18,998,940	18,671,415	18,251,130	18,055,686	17,933,250
有収率(D/C) (%)		90.0	90.8	90.8	91.5	92.0
1日最大配水量 (m³)		(12/31) 61,919	(5/23) 61,297	(1/25) 60,021	(7/2) 59,888	(7/7) 59,371
府営水道 1日最大配水量 (m³)		(11/12) 45,160	(12/31) 43,785	(2/27) 43,940	(11/13) 41,414	(7/7) 41,493
自己水源 1日最大配水量 (m³)		(6/16) 19,429	(9/8) 19,914	(7/5) 19,100	(7/3) 19,755	(4/11) 19,241
1日平均配水量 (m³)		57,831	56,310	55,085	53,923	53,385
1日1人 平均配水量 (L)		315	309	305	301	300
導送配水管総延長 (km)		698	701	703	709	704
職 員 数 (人)		82	76	79	77	70

※職員数は、地方公営企業決算状況調査基礎数値による(会計年度任用職員を含む)。

4) 配水量の分析

令和7年3月31日現在

(単位: m³)



3. 水道施設

1) 施設及び内容

浄水場施設

◆施設名：宇治浄水場

HWL=15.1 m LWL=12.8 m

◆所在地：宇治市五ヶ庄高車 1-2、尼ヶ塚 1-2他

14,975.43 m² (借地)

◆水系：淀川水系宇治川伏流水、地下水

◆計画能力：20,700 m³/日 薬品沈澱、急速濾過、塩素滅菌処理

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
取水施設	伏流水井(浅井戸) RC造 巾 2.05 m×長 2.05 m×深 11.7 m 集水導水管 RC造、φ 1.1m×長 62 m 接合井 RC造、巾 2.1 m×長 2.1 m×深 8.5 m 集水埋渠 有孔鉄筋コンクリート管、φ 1.1m×長 76 m	1 井	取水権 0.0579 m ³ /s 計画取水量 5,000 m ³ /日 改良 昭和52年 7月
	取水ポンプ φ 150mm×3.0m ³ /min×26m×22kW	2 台	
	1号井(地下水) 鋼管 t=9.5、φ 500 mm、深 100 m 二重ケーシング FRP管 t=7、φ 400 mm、深 100 m	1 井	計画取水量 3,360 m ³ /日
	取水ポンプ φ 150mm×2.5m ³ /min×55m×37kW 揚水管 φ 150×長52.25m	1 台	竣工 昭和56年 6月
	2号井(地下水) 鋼管 t=9.5、φ 500 mm、深 100 m 巻線型 スクリーン(STK400) - SUS304	1 井	計画取水量 3,360 m ³ /日
	取水ポンプ φ 150mm×2.33m ³ /min×43m×37kW 揚水管 φ 150mm×長50.65m	1 台	竣工 昭和52年 7月 更新 平成24年 5月
	3号井(地下水) 鋼管 t=9.5、φ 500 mm、深 100 m 二重ケーシング 鋼管 t=7.0、φ 400 mm、深 89.2 m	1 井	計画取水量 3,360 m ³ /日
	取水ポンプ φ 150mm×2.5m ³ /min×55m×37kW 揚水管 φ 150mm×長55.0m	1 台	竣工 昭和54年 7月
	4号井(地下水) SUS管 t=8.0、φ 500 mm、深 100 m 巻線型 スクリーン SUS304	1 井	計画取水量 3,360 m ³ /日
	取水ポンプ φ 150mm×2.33m ³ /min×43m×37kW 揚水管 φ 150mm×長 56m	1 台	竣工 昭和58年 5月 更新 平成31年 3月
	5号井(地下水) 鋼管 t=9.5、φ 500 mm、深 150 m	1 井	計画取水量 3,360 m ³ /日
	取水ポンプ φ 150mm×2.5m ³ /min×55m×37kW 揚水管 φ 150mm×長60.5m	1 台	竣工 昭和61年 2月
浄水施設	着水井(RC造、塗膜防水) 巾 2.5 m×長 6.1 m×深 3.6 m 容量 55 m ³	1 池	竣工 昭和52年 7月 (浄水施設)
	混和池(RC造、塗膜防水) 巾 3.0 m×長 4.0 m×深 2.98 m 容量 36 m ³	1 池	増設 昭和54年 7月
	脱炭酸槽(RC造、塗膜防水) 巾 3.0 m×長 16.0 m×深 2.79 m 容量 計268 m ³	2 池	(2号～4号ろ過機)
	フラッシュミキサー 34.3 rpm×2.2 kW	2 台	竣工 昭和55年 8月
	フロック形成池(RC造、塗膜防水)巾 5.5 m×長 5.4 m×深 2.74 m 容量 計326 m ³	4 池	(汚泥処理施設)
	フロキュレーター 7.79 rpm×2.2kW	8 台	増設 昭和57年10月 (1号ろ過機)
	薬品沈澱池(RC造、塗膜防水、傾斜板使用) 1系 巾 5.5 m×長 19.5 m×深 3.31 m 2系 巾 5.5 m×長 19.5 m×深 3.62 m 容量 計1,486 m ³	2 池 2 池	増設 昭和59年 3月 (2系フロック形成池 ～薬品沈澱池)
	濾過ポンプ池吸込井(RC造、塗膜防水) 巾15.4m×長1.8m×深1.14m 容量 計63 m ³	2 池	
	急速濾過機(厚鋼材 t=9、マンガンス濾過) φ 5.6m×高 6.7m 濾過面積 25 m ² /基 濾過能力 3,000 m ³ /日・基	7 基	改良 平成 6年 3月 (消毒方法の変更)
	浄水池(RC造、塗膜防水) 巾 21.8 m×長 19.5 m×深 2.3 m 有効容量 978m ³ (容量 1,105m ³)	1 池	

施 設	構 造 ・ 形 式 ・ 能 力	数 量	摘 要
汚泥処理 施設	排水濃縮槽 (RC造、塗膜防水) ϕ 11.6m×深 2.75m 容量 290m ³	1 池	更新 平成22年 3月 (前塩素設備)
	汚泥引抜ポンプ ϕ 100mm×0.8 m ³ /min×10 m×5.5 kW	2 台	
	天日乾燥池 (RC造) 巾 6.5 m×長 15.0 m 面積 計487.5 m ²	5 池	更新耐震 平成30年 3月 (浄水施設)
	1号排水槽排泥ポンプ ϕ 80mm×0.75 m ³ /min×10 m×3.7 kW	2 台	
	1号排水槽排水ポンプ ϕ 150mm×2 m ³ /min×18 m×15 kW	2 台	
	洗浄排水槽返送ポンプ ϕ 150mm×2.6 m ³ /min×15 m×15 kW	2 台	更新耐震 平成31年 3月 (汚泥処理施設)
	分離水槽返送ポンプ ϕ 150mm×2.6 m ³ /min×15 m×15 kW	2 台	
	床排水ポンプ ϕ 50mm×0.28 m ³ /min×3.5 m×0.75 kW	1 台	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 5 m ³ /基	2 基	更新耐震 令和 2年 3月 (浄水池・送水管)
	次亜塩素酸ソーダ注入機 (前塩) 310 mL/min×0.5Mpa×0.4kW	2 台	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 (後塩) 110 mL/min×50 m×0.2 kW	1 台	
PAC注入 設備	PAC貯留槽 容量 4 m ³ /基	2 基	新設 令和 2年 6月 (自家発電機棟)
	PAC補助タンク 容量 300L/基	2 基	
	PAC移送ポンプ 100 L/min×11.5 m×0.2 kW	1 台	
	PAC注入機 60mL/min×0.8 MPa×44W	2 台	
苛性ソーダ 注入設備	苛性ソーダ希釈槽 容量 14 m ³ /基	1 基	更新 令和 2年12月 (受変電設備) (自家発電設備)
	苛性ソーダ貯留槽 容量 22 m ³ /基	1 基	
	苛性ソーダ注入機 2.2 L/min×1.0 MPa×0.2 kW	2 台	
	2.0 L/min×0.3 MPa×0.4 kW	1 台	改修 令和 3年 7月 (管理棟)
	移送ポンプ 850 L/min× 8 m×5.5 kW	1 台	
	230L/min×13 m×2.2 kW	1 台	
濾過ポンプ 設備	希釈槽攪拌機 (側面型) 2.2 kW	1 台	更新 令和 4年 7月 (排水処理設備)
	濾過ポンプ ϕ 100mm×2.3 m ³ /min×17.5 m×11 kW	7 台	
	エゼクターポンプ ϕ 150mm×3.55 m ³ /min×11.5 m×11 kW	1 台	
送水ポンプ 設備	ϕ 80mm×0.8 m ³ /min×21 m×5.5 kW	1 台	更新 令和 4年 7月 (排水処理設備)
	両吸込渦巻ポンプ (五ヶ庄配水池送水) ϕ 150mm×3.6 m ³ /min×75 m×90 kW	5 台	
電気設備	受電電圧 6.6 kV		
	トランス		
	・ 3 ϕ 750 kVA 6,600 V / 440V-220 V	2 台	
	・ 1 ϕ 30 kVA 440 V / 210V-105 V	2 台	
	・ 3 ϕ 50 kVA 440 V / 210V	2 台	
	・ 1 ϕ 3 kVA 210 V / 210V-105 V	2 台	
	・ 3 ϕ 750 kVA 6,600 V / 440 V	1 台	
	・ 3 ϕ 200 kVA 6,600 V / 440 V	1 台	
	・ 3 ϕ 300 kVA 440 V / 210 V	1 台	
	・ 1 ϕ 75 kVA 440 V / 210V-110 V	1 台	
	非常用発電機 (ディーゼル) 800 kW、6600 V、60 Hz	1 台	
監視設備	テレメーター親局 ①西小倉浄水場②広野町浄水場③神明浄水場④下居P場 ⑤琵琶P場⑥五ヶ庄P場⑦金井戸P場⑧森本P場⑨広岡谷P場 ⑩明星町P場⑪平尾台P場⑫炭山第1P場⑬白川加圧P場 ⑭炭山中継P場⑮笠取第1中継P場⑯笠取第2中継P場⑰池尾浄水場受信	17 局	

浄水場施設

◆施設名：西小倉浄水場

HWL=12.4 m LWL=8.9 m

◆所在地：宇治市伊勢田町中遊田 5-1他

5,791 m²

◆水系：地下水及び府営水

◆計画能力：5,000 m³/日 (自己水)

5,000 m³/日 (府営水第2分水受水 平成 5年 9月 1日)

急速濾過、塩素滅菌処理

施 設	構 造 ・ 形 式 ・ 能 力	数 量	摘 要
取水施設	1号井 (地下水) 鋼管 t=9.5、 ϕ 500 mm、深 200 m	1 井	計画取水量 4,280 m ³ /日
	二重ケーシング 鋼管 t=7.9、 ϕ 350mm、深 200m 三重ケーシング 鋼管 t=6.9、 ϕ 300mm、深 110.5m		
	取水ポンプ ϕ 150mm×3.5m ³ /min×35m×45kW 揚水管 ϕ 150×長 71.5m	1 台	竣工 平成元年 5月

施 設	構 造 ・ 形 式 ・ 能 力	数 量	摘 要
浄水施設	沈砂池 (RC造、シート防水) 巾 3.8m×長 10m×深 2.27m 容量 86 m ³	1 池	竣工 平成元年 5月 増設 平成 4年 7月 (第2配水池)
	曝気装置 (鋼板製、充填バスケット方式) 巾 2.1m×長 2.1m×深 3.1m 処理能力 5,350 m ³ /日	1 基	
	曝気ファン 30 m ³ /min×80 mmAq×1.5 kW	1 台	
	着水井 (RC造、塗膜防水) 巾 1.2m×長 5.8m×深 2.2m 容量 15 m ³	1 池	
	フラッシュミキサー 50 rpm×3.7 kW	1 台	
	濾過ポンプ井 (RC造、塗膜防水) 巾 6.0m×長 14.0m×深 3.1m 容量 260 m ³	1 池	
	急速濾過機 (厚鋼材 t=14、圧力方式、マンガン砂濾過) φ 3.85m×高 2.0m 濾過面積 11.63 m ² /基 濾過能力 2,675 m ³ /日・基	3 基	
	第1配水池 (RC造、シート防水) 巾 22.0m×長 25.0m×深 4.5m 容量 2,475m ³	1 池	
	第2配水池 (RC造、シート防水) 巾 36.5m×長 22.0m×深 4.0m 容量 3,212 m ³	1 池	
	配水ポンプ井 (RC造、シート防水) 巾 12.0m×長 22.0m×深 4.5m 容量 1,188 m ³	1 池	
	排水濃縮槽 (RC造、塗膜防水) φ 4.5m×深 3.5m 容量 56 m ³	1 池	
汚泥処理 施設	汚泥引抜ポンプ φ 40mm×0.21 m ³ /min×10.5 m×1.5 kW	2 台	
	天日乾燥池 (RC造) 巾 4.0m×長 6.6m 面積 計52.8 m ²	2 池	
	上澄水返送ポンプ φ 150mm×3.1 m ³ /min×4.6 m×5.5 kW	2 台	
	汚泥移送ポンプ φ 80mm×0.86 m ³ /min×9.5 m×3.7 kW	2 台	
	排水ポンプ φ 150mm×1.6 m ³ /min×8.5 m×5.5 kW	2 台	
	天日乾燥池返送ポンプ φ 40mm×0.05 m ³ /min×6 m×0.25 kW	1 台	
	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 5 m ³ /基	2 基	
減菌設備	次亜塩素酸ソーダ注入機 (前塩) 120mL/min×0.5MPa×25W	2 台	
	PAC貯留槽 容量 3 m ³ /基	2 基	
	PAC補助タンク 100 L/基	1 基	
	PAC移送ポンプ 0.56 L/min×0.5 MPa×0.4 kW	2 台	
PAC注入 設備	PAC注入機 39.6 mL/min×1.0 MPa×44 W	1 台	
	苛性ソーダ貯留槽 容量 3 m ³ /基	1 基	
	苛性ソーダ注入機 205 mL/min×0.4 MPa×17 W	1 台	
濾過ポンプ 設備	濾過ポンプ (単段渦巻ポンプ) φ 100mm×1.94m ³ /min×21m×11kW	4 台	
	逆洗浄ポンプ (単段渦巻ポンプ) φ 200mm×6.99m ³ /min×21m×37kW	2 台	
配水ポンプ 設備	多段渦巻ポンプ (直接給水)		
	可変ポンプ (48～60Hz) φ 150mm×3.42 m ³ /min×54 m×45 kW	2 台	
	定速ポンプ φ 150mm×2.97 m ³ /min×54 m×45 kW	4 台	
	加圧タンク方式 (小流量時使用) タンク内容量 4 m ³ 使用圧力 0.33～0.456 MPa	1 基	
電気設備	水中ポンプ φ 80mm×1.5 m ³ /min×45 m×15 kW	2 台	
	受電電圧 (常用予備切替方式) 6.6 kV		
	トランス ・ 3 φ 950 kVA 6,600 V / 420V-210 V ・ 1 φ 30 kVA 420 V / 210V-105 V	2 台 1 台	
監視設備	テレメーター子局 ・ 宇治浄水場送信	1 局	

浄水場施設

◆施設名： 広野町浄水場（併設：広野町配水池及び広野町加圧ポンプ場）

◆所在地： 宇治市広野町八軒屋谷27

3,872 m³

◆水系： 地下水（深井戸2井）及び府営水（折居台配水池より流入）

◆計画能力： 2,200m³/日 急速濾過、塩素滅菌処理

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
取水施設	広野取水井（地下水） SUS管 t=8.0、φ 350 mm、深 166 m 巻線型 スクリーン(SUS304)	1 井	計画取水量 600 m ³ /日
	取水ポンプ φ 65mm×0.42 m ³ /min×92 m×11 kW 揚水管 φ 80×長 88 m	1 台	竣工 令和 3年 3月
	奥広野取水井（地下水） SUS管 t=8.0、φ 400 mm、深 193 m 巻線型 Vスロットスクリーン(SUS304)	1 井	計画取水量 2,000 m ³ /日
	取水ポンプ φ 80mm×0.486 m ³ /min×107 m×15 kW 揚水管 φ 150×長 121 m	1 台	竣工 令和 4年 8月
	エアチャンバー 寸法 φ 1000mm×1537H 容量 1.5 m ³ 最高圧力 0.93 MPa	1 台	
浄水施設	着水井（RC造、塗膜防水） 巾 1.4 m×長 1.4 m×深 3.0 m 容量 5.88 m ³	1 池	竣工 令和 3年 3月
	混和池（RC造、塗膜防水） 巾 1.4 m×長 1.4 m×深 3.0 m 容量 5.88 m ³	1 池	
	急速攪拌池（RC造、塗膜防水） 巾 1.8 m×長 1.4 m×深 2.98 m 容量 7.51 m ³	1 池	
	急速攪拌機 φ 600×0.75 kW	1 台	
	流出井（RC造、塗膜防水） 巾 3.0 m×長 1.4 m×深 2.5 m 容量 10.5 m ³	1 池	
	急速濾過機（厚鋼材 t=6.0、マンガン砂濾過） φ 2.75m×高 4.5m 濾過面積 5.936 m ² /基 濾過能力 866.6 m ³ /日・基	4 基 (1基予備)	
汚泥処理 施設	排水池（RC造、塗膜防水） 巾 4.0 m×長 2.0 m×深 3.0 m	2 池	
	汚泥引抜ポンプ φ 50mm×0.1 m ³ /min×10m×0.75kW	2 台	
	上澄水返送水槽（RC造、塗膜防水） 巾 4.0 m×長 2.0 m×深 3.0 m	1 池	
	上澄水返送ポンプ φ 50mm×0.4 m ³ /min×25 m×3.7 kW	2 台	
	天日乾燥床（RC造） 巾 6.2 m×長 4.0 m	3 池	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 300 L	1 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 25.1 mL/min×1.0 Mpa×15 W	2 台	
PAC注入 設備	PAC貯留槽 容量 200 L	1 基	
	PAC注入機 25 mL/min×1.0 MPa×10 W	2 台	
苛性ソーダ 注入設備	苛性ソーダ貯留槽 容量 800 L	1 基	
	苛性ソーダ注入機 25 mL/min×1.0MPa×10W	2 台	
電気設備	受電電圧 6.6 kV		
	トランス ・ 3 φ 150 kVA 6,600 V / 210 V ・ 1 φ 10 kVA 210 V / 210V-105 V	1 台 1 台	
	非常用発電機（ディーゼル） 80 kW、220 V、60 Hz	1 台	
監視設備	テレメーター親局 ・奥広野取水場受信	1 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

広野町配水池及び広野町加圧ポンプ場

HWL=84.0 m LWL=80.0 m

◆水系： 自己水（広野町浄水）及び府営水（折居台配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、塗膜防水 巾 27.0 m×長 19.5 m×深 4.0 m 有効容量 計4,212 m ³	2 池	竣工 平成 5年 7月 改良 平成 19年
配水ポンプ 設備	加圧タンク方式 タンク内容量 18 m ³ 使用圧力 0.48～0.61 Mpa	1 基	（φ 100mm バイパス配管） 耐震 令和 2年 3月 （配水池耐震及び 緊急遮断弁設置等）
	多段渦巻ポンプ φ 80mm×0.7 m ³ /min×65 m×15 kW	2 台	
	φ 80mm×0.7 m ³ /min×65 m×15 kW（エンジン付）	1 台	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽（府営水用） 容量 800L	1 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機（府営水用） 0～50 mL/min×0.8 Mpa× 20 W	2 台	
電動弁	電動仕切弁 φ 450mm×0.2 kW	1 台	
緊急遮断弁	φ 600 mm（配水池 2 に設置）	1 台	

浄水場施設

◆施設名：池尾浄水場

HWL=255.80 m LWL=254.75 m

◆所在地：宇治市池尾南組 11-5

231 m²

◆水系：地下水

◆計画能力：8.8 m³/日 急速濾過、塩素滅菌処理

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
取水施設	1号井(地下水) VP、φ300 mm、深130 m	1 井	計画取水量 9.7 m ³ /日 竣工 平成12年 6月 改良 平成26年 3月
	取水ポンプ φ32mm×0.05m ³ /min×87m×1.5kW 揚水管32A×長60.0m	1 台	
浄水施設	浄水池(RC造、モルタル防水) 巾1.0m×長1.7m×深1.05m 有効容量 1.8 m ³ (容量 2.6 m ³)	1 池	
	急速濾過機(鋼板製)(除鉄装置) φ500mm×高1.8 m 濾過面積 0.196m ² /基 濾過能力 9.7m ³ /日	2 基	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 PVC 容量 50 L/基	1 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 2~9 mL/min×0.7 MPa×25 W	2 台	
苛性ソーダ 注入設備	苛性ソーダ貯留槽 PVC 容量 50L/基	1 基	
	苛性ソーダ注入機 2~9 mL/min×0.7 MPa×25 W	1 台	
濾過ポンプ	逆洗ポンプ(片吸込渦巻ポンプ) φ40mm×φ32mm×0.2m ³ /min×13m×0.75kW	2 台	
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ40mm×0.06 m ³ /min×59 m×3.7kW	2 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・池尾配水池受信	1 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：東山配水池

HWL=97.7 m LWL=93.7 m

◆所在地：宇治市宇治東山 43-1

3,835 m²

◆水系：府営水(下居ポンプ場及び折居台配水池より流入)

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	第1配水池(RC造、有効容量 計1,116 m ³) 巾9.3m×長15m×深4m	2 池	竣工 昭和41年 5月 増設 昭和47年 5月 (第2配水池) 増設 昭和61年 2月 (電動弁)
	第2配水池(RC造 有効容量 計1,506 m ³) 巾12.55m×長15m×深4m	2 池	
電動弁	電動仕切弁 φ200mm×0.4 kW	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V		
監視設備	テレメーター子局 ・下居ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：白川圧力調整池

HWL=94.0 m LWL=91.0 m

◆所在地：宇治市白川三西原 4-1

507 m²

◆水系：府営水(折居台配水池より流入)

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 計115 m ³ 巾3.9m×長4.9m×深3m	2 池	竣工 昭和42年 4月

配水池施設

◆施設名：高峰山配水池

HWL=100.0 m LWL=95.0 m

◆所在地：宇治市五ヶ庄高峰山 2-2

2,892 m²

◆水系：自己水(五ヶ庄ポンプ場より送水)及び府営水(森本ポンプ場より送水)

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	第1配水池(PC造、有効容量 2,076 m ³) φ23 m×深5.0 m	1 池	竣工 昭和46年12月 増設 昭和56年12月 (第2配水池) 増設 昭和60年 2月 (電動弁) 増設 平成17年 3月 (緊急遮断弁)
	第2配水池(PC造、有効容量 1,005 m ³) φ16 m×深5.0 m	1 池	
電動弁	電動仕切弁 φ350mm×1.5 kW	1 台	
緊急遮断弁	(第2配水池設置) 口径 300 mm	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V及び110V		
監視設備	テレメーター子局 ・森本ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：明星町配水池

HWL=115.0 m LWL=110.0 m

◆所在地：宇治市菟道郷原 2-1の内

2,321.76 m²

◆水系：府営水（明星町ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	PC造、有効容量 883 m ³ φ 15.0 m×深 5 m	1 池	竣工 平成14年 3月
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター子局 ・明星町ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：炭山高区配水池

HWL=234.7 m LWL=231.2 m

◆所在地：宇治市炭山乾谷 2-3

392 m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山第2ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 計104 m ³ 巾 2.7 m×長 5.5 m×深 3.5 m	2 池	竣工 平成 9年 3月 改良 平成24年 4月
電動弁	φ 150mm×1.5 kW (電動仕切弁)	1 台	
	φ 150mm×1.5 kW (電動バイパス用バタ弁)	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V及び110V		
監視設備	信号ケーブルにて ・炭山低区配水池受信		
	テレメーター子局 ・炭山第2ポンプ場送信 (信号ケーブル)	1 局	

配水池施設

◆施設名：炭山低区配水池

HWL=220.0 m LWL=216.5 m

◆所在地：宇治市炭山久田 57-1他

459 m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山高区配水池より流入及び炭山第2ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 計113 m ³ 巾 2.7 m×長 6.0 m×深 3.5 m	2 池	竣工 平成 9年 3月 改良 平成24年 4月
電動弁	電動仕切弁 φ 150mm×1.5 kW	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V及び110V		
監視設備	信号ケーブルにて ・炭山高区配水池送信		

配水池施設

◆施設名：炭山中継調整池

HWL=296.0 m LWL=293.5 m

◆所在地：宇治市炭山滝ノ元 1-2

114 m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山中継ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	ステンレスパネルタンク、有効容量 計30m ³ 巾 3.0m×長 2.0m×深 2.5m	2 池	竣工 平成25年 9月
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター子局 ・炭山中継ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：二尾配水池

HWL=225.5 m LWL=222.5 m

◆所在地：宇治市二尾金剛谷 7-10

150m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山中継調整池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 計50.4m ³ 巾 2.0 m×長 4.2m×深 3.0 m	2 池	竣工 平成 9年 3月 改良 平成26年 3月
調節弁	自動水位調整弁 75A	1 台	
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター子局 ・二尾圧力調整池送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：二尾圧力調整池

HWL=172.4 m LWL=170.2 m

◆所在地：宇治市二尾宇川 5-4

114 m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山中継調整池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 15.5m ³ 巾 1.55m×長 4.55 m×深 2.2 m	1 池	竣工 平成12年 4月 改良 平成26年 3月
調節弁	自動水位調整弁 75A	1 台	
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター親局 ・二尾配水池受信	1 局	
	テレメーター子局 ・炭山中継ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：笠取第1配水池

HWL=235.5 m LWL=233.0 m

◆所在地：宇治市東笠取奥出 14-2

179 m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第1中継ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量49.8m ³ 巾 3.5 m×長 5.7 m×深 2.5 m	1 池	竣工 昭和59年12月 改良 平成26年 3月
電気設備	受電電圧 220 V及び110 V		
監視設備	テレメーター子局 ・笠取第1中継ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：笠取第2配水池

HWL=336.0 m LWL=334.0 m

◆所在地：宇治市東笠取大平 40-2・稲出 1-2

170m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第5ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量39.9m ³ 巾 3.5 m×長 5.7m×深 2.0 m	1 池	竣工 昭和59年12月 改良 平成26年 3月
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター親局 ・笠取圧力調整池受信	1 局	
	テレメーター子局 ・笠取第5ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：笠取圧力調整池

HWL=275.0 m LWL=274.0 m

◆所在地：宇治市東笠取平出 55-4

72m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第2配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量2.7m ³ 巾 1.5 m×長1.8m×深1.0 m	1 池	竣工 昭和59年12月 改良 平成26年 3月
調節弁	自動水位調整弁 75A	1 台	
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター子局 ・笠取第2配水池送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：笠取第4配水池

HWL=301.0 m LWL=299.0 m

◆所在地：宇治市西笠取中島 27-2

156m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第3ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量33.6m ³ 巾 3.5 m×長4.8m×深2.0 m	1 池	竣工 昭和59年12月 改良 平成26年 3月
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター子局 ・笠取第3ポンプ場送信	1 局	

配水池施設

◆施設名：池尾配水池

HWL=287.0 m LWL=284.5 m

◆所在地：宇治市池尾西組 74

519m²

◆水系：自己水（池尾浄水場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 計39.0m ³ 巾 2.6 m×長3.0m×深 2.5 m	2 池	竣工 平成12年 6月
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 50 L／基	1 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 2～9 mL/min×0.7 MPa×25 W	1 台	
電気設備	受電電圧 110V		
監視設備	テレメーター子局 ・池尾浄水場送信	1 局	

配水池及びポンプ場施設

◆施設名：下居配水池及び下居ポンプ場

HWL=52.3 m LWL=47.8 m

◆所在地：宇治市宇治下居 64-1他

6,353 m²

◆水系：府営水（府営水第1受水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	第1配水池（RC造、有効容量 900 m ³ ） 巾12.5m×長16.0m×深4.5m	1 池	竣工 昭和40年 3月
	第2配水池（RC造、有効容量 計1,540 m ³ ） 巾10.9m×長15.7m×深4.5m	2 池	増設 昭和41年
	第3配水池（RC造、有効容量 計5,441 m ³ ） 巾15.5m×長26.0m×深4.5m	3 池	（第1配水池）
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ（東山配水池送水） φ 150mm×2.5m ³ /min×65m×55kW	2 台	増設 昭和47年
	φ 125mm×1.6m ³ /min×62m×30kW	2 台	（第3配水池）
電気設備	受電電圧 6.6kV		増設 昭和48年
	トランス ・ 3 φ 150 kVA 6,600 V / 440V -254 V	1 台	（送水ポンプ）
	・ 3 φ 100 kVA 6,600 V / 210 V	1 台	（電気設備）
	・ 1 φ 20 kVA 6,600 V / 210 V -105 V	1 台	増設 昭和55年
監視設備	テレメーター親局 ・東山配水池受信	1 局	（滅菌設備）
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

配水池及びポンプ場施設

◆施設名：琵琶配水池及び琵琶ポンプ場

HWL=52.3 m LWL=47.8 m

◆所在地：宇治市宇治琵琶 45-2の内

5,116.64 m²（借地）

◆水系：府営水（下居配水池と連通 φ 700 mm）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 計6,130 m ³ 巾 17.6 m×長 38.7 m×深 4.5 m	2 池	竣工 昭和50年 6月
送水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ（折居台配水池送水）φ 150mm×2.9m ³ /min×84m×90kW	4 台	増設 昭和54年10月
緊急遮断弁	φ 600 mm（第1配水池に設置）	1 台	（送水ポンプ）
電気設備	受電電圧（常用予備切替方式） 6.6kV		増設 平成16年 7月
	トランス ・ 3 φ 500 kVA 6,600 V / 440 V	1 台	（緊急遮断弁）
	・ 3 φ 30 kVA 6,600 V / 210 V	1 台	耐震補強工事
	・ 1 φ 20 kVA 6,600 V / 210 V- 105 V	1 台	平成28年12月
監視設備	テレメーター親局 ・折居台配水池受信	1 局	更新 令和 4年12月
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

配水池及びポンプ場施設

◆施設名：五ヶ庄配水池及び五ヶ庄ポンプ場

HWL=81.6 m LWL=77.1 m

◆所在地：宇治市五ヶ庄三番割 25-2他

4,735 m²

◆水系：自己水（宇治浄水場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	第1配水池（RC造、有効容量 1,107 m ³ ） 巾13.3m×長18.5m×深4.5m	1 池	竣工 昭和56年 6月
	第2配水池（RC造、有効容量 1,767 m ³ ） 巾11.9m×長33.0m×深4.5m	1 池	改築 昭和56年 9月
	第3配水池（RC造、有効容量 計5,227 m ³ ） 巾12.0m×長48.4m×深4.5m	2 池	（第1配水池）
送水ポンプ	単段渦巻ポンプ（高峰山配水池送水）φ 125mm×4.0m ³ /min×30m×30kW	3 台	（送水ポンプ）
緊急遮断弁	φ 600 mm（第3配水池に設置）	1 台	増設 昭和61年 9月
電気設備	受電電圧 6.6kV		（送水ポンプ）
	トランス ・ 3 φ 150 kVA 6,600 V / 210 V	1 台	増設 平成 7年12月
	・ 1 φ 20 kVA 6,600 V / 210 V -105 V	1 台	（第3配水池）
			（緊急遮断弁）
監視設備	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	耐震補強工事 令和 7年 3月 （第3配水池）

配水池及びポンプ場施設

◆施設名：須留配水池及び炭山第1ポンプ場

◆所在地：宇治市木幡須留 4-15他

4,278 m²

須留配水池

HWL=130.1 m LWL=125.6 m

◆水系：自己水及び府営水（広岡谷ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	第1配水池（RC造、有効容量 計800 m ³ ） 巾8.15m×長10.9m×深4.5m	2 池	竣工 昭和47年 7月
	第2配水池（RC造、有効容量 計1,215 m ³ ） 巾7.5m×長18.0m×深4.5m	2 池	増設 平成 9年 8月
緊急遮断弁	φ 350mm（第2配水池に設置）	1 台	（第2配水池）
電気設備	受電電圧 110V		（緊急遮断弁）
監視設備	テレメーター子局 ・広岡谷ポンプ場送信	1 局	

炭山第1ポンプ場

HWL=126.2 m LWL=124.7 m

◆水系：自己水及び府営水（須留配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 10 m ³ 巾 1.5 m×長 4.3 m×深 1.5 m	1 池	竣工 平成 8年 3月
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 65mm×0.36 m ³ /min×83 m×11 kW	2 台	改良 平成24年 7月
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 100 L/基	2 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 30 mL/min×1.5 MPa×70 W	2 台	
電動弁	電動仕切弁 φ 100mm×0.2 kW	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・炭山第2ポンプ場受信（信号ケーブル）	1 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

配水池及びポンプ場施設

◆施設名：笠取第3配水池及び笠取第3ポンプ場

◆所在地：宇治市西笠取相月川西 17-2

HWL=233.5 m LWL=231.5 m

134 m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第1中継ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 35.7 m ³ 巾 3.5 m×長 5.1 m×深 2.0 m	1 池	竣工 昭和59年 12月
送水ポンプ	単段渦巻ポンプ φ 40mm×0.04 m ³ /min×75 m×3.7kW	2 台	改良 平成26年 3月
電気設備	受電電圧 220 V及び110 V		更新 令和 4年 2月
監視設備	テレメーター親局 ・笠取第4配水池受信	1 局	（送水ポンプ盤）
	テレメーター子局 ・笠取第1中継ポンプ場送信	1 局	

配水池及びポンプ場施設

◆施設名：笠取第5配水池及び笠取第5ポンプ場

◆所在地：宇治市西笠取赤坂 32-12

HWL=238.0 m LWL=234.5 m

622m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第4ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	RC造、有効容量 計105.8m ³ 巾 2.7 m×長 5.6m×深 3.5 m	2 池	竣工 平成10年 3月
	ステンレスパネルタンク、有効容量 計56m ³ 巾 4.0m×長2.0m×深 3.5m	2 池	改良 平成26年 3月
送水ポンプ設備	立形多段ポンプ φ 25mm×0.052 m ³ /min×107 m×3 kW	2 台	新設 令和 2年 9月
	エアチャンバー（屋内型） 蓄圧式 0.26 m ³	1 台	（ポンプ室）
電気設備	受電電圧 220 V及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・笠取第2配水池受信	1 局	
	テレメーター子局 ・笠取第4ポンプ場送信	1 局	

ポンプ場施設

◆施設名：金井戸ポンプ場

HWL=26.3 m LWL=24.1 m

◆所在地：宇治市宇冶金井戸 7-21

29.80 m² (借地)

◆水系：府営水（白川圧力調整池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 33 m ³ 巾 3.0 m×長 5.0 m×深 2.2 m	1 池	竣工 昭和40年 3月
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 65mm×0.35 m ³ /min×106 m×15 kW	2 台	改良 昭和61年 3月
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 100 L/基	1 基	改良 平成11年11月
	次亜塩素酸ソーダ注入機 0.25～25.1 mL/min×1.0 MPa×15 W	2 台	(送水ポンプ更新等)
電気設備	受電電圧 220V及び110V		更新 令和 4年 3月
監視設備	テレメーター親局 ・金井戸加圧ポンプ場受信	1 局	(送水ポンプ更新等)
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	更新 令和 5年 9月
			(電気設備更新等)

ポンプ場施設

◆施設名：森本ポンプ場

GL=27.468 m

◆所在地：宇治市菟道森本 1-11

551 m²

◆水系：府営水（下居配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
送水ポンプ	両吸込渦巻ポンプ（羽戸山・高峰山配水池送水） φ 100mm×3.9 m ³ /min×80 m×90 kW	4 台	竣工 昭和46年 9月
電気設備	受電電圧（常用予備切替方式） 6.6 kV		改良 昭和60年 3月
	トランス ・ 3 φ 500 kVA 6,600 V / 440 V	1 台	改良 平成 8年 3月
	・ 3 φ 10 kVA 440 V / 210 V	1 台	(電気設備更新等)
	・ 1 φ 10 kVA 440 V / 210 V -105 V	1 台	耐震補強工事
監視設備	テレメーター親局 ・羽戸山配水池受信 ・高峰山配水池受信	2 局	平成25年 3月
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	更新 令和7年3月
			(送水ポンプ更新等)

ポンプ場施設

◆施設名：広岡谷ポンプ場

GL=59.0 m

◆所在地：宇治市木幡南山 15-19

661 m²

◆水系：自己水及び府営水（高峰山配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ（須留配水池送水） φ 125mm×2.0m ³ /min×62m×37kW	3 台	竣工 昭和47年
電気設備	受電電圧 6.6 kV		改良 昭和62年 7月
	トランス ・ 3 φ 150 kVA 6,600 V / 210 V	1 台	(電気設備及び
	・ 1 φ 10 kVA 6,600 V / 210 V -105 V	1 台	送水ポンプ更新等)
監視設備	テレメーター親局 ・須留配水池受信	1 局	更新 令和 4年 6月
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	(送水ポンプ)

ポンプ場施設

◆施設名：明星町ポンプ場

HWL=45.7 m LWL=43.7 m

◆所在地：宇治市明星町1丁目 1-26他

222 m² (S51. 9郊外土地より移管)

◆水系：府営水（森本ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 計57 m ³ 巾 3.84 m×長 3.69 m×深 2.0 m	2 池	竣工 昭和46年
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ（明星町配水池送水） φ 100mm×1.2m ³ /min×78m×30kW	2 台	改良 平成14年 1月
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 200L/基 角形タンク	2 基	(電気設備及び
	次亜塩素酸ソーダ注入機 73 mL/min×1.0 MPa×17 W	2 台	送水ポンプ更新等)
調節弁	自動水位調整弁 φ 150mm	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V及び110 V		
	非常用発電機 (ディーゼル) 79.4kW, 3 φ 220V, 60Hz	1 台	
監視設備	テレメーター親局 ・明星町配水池受信	1 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

ポンプ場施設

◆施設名：平尾台ポンプ場

HWL=72.3 m LWL=70.2 m

◆所在地：宇治市平尾台4丁目 1-1

380 m²

◆水系：自己水及び府営水（須留配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 126 m ³ 巾 7.5 m×長 8.0 m×深 2.1 m	1 池	竣工 昭和63年 8月
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ（平尾台配水池送水）φ 125mm×1.25m ³ /min×73m×30kW	2 台	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 500 L/基	1 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 30 mL/min×1.5 MPa×30 W	2 台	
調節弁	自動水位調整弁 φ 300mm	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・平尾台配水池受信	1 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

ポンプ場施設

◆施設名：炭山第2ポンプ場

HWL=204. 0 m LWL=202.5 m

◆所在地：宇治市木幡南原 2-19

210.16 m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山第1ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 7 m ³ 巾 1.8 m×長 3.4 m×深 1.1 m	1 池	竣工 平成 8年 3月
	ステンレスパネルタンク、有効容量22.5m ³ 巾2.5m×長6.0m×深1.5m	1 池	改良 平成25年11月
送水ポンプ 設備	多段渦巻ポンプ φ 65mm×0.36 m ³ /min×97 m×15 kW	2 台	
	エアチャンバー（屋外型） 蓄圧式 0.26m ³	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・炭山高区配水池受信（信号ケーブル）	1 局	
	テレメーター子局 ・炭山第1ポンプ場送信（信号ケーブル）	1 局	

ポンプ場施設

◆施設名：炭山中継ポンプ場

HWL=219.5 m LWL=217.5 m

◆所在地：宇治市炭山滝ノ元 8-4

183 m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山高区配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 計30 m ³ 巾 2.5 m×長 3.0 m×深 2.0 m	2 池	竣工 平成25年 9月
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 50mm×0.25 m ³ /min×79 m×7.5 kW	2 台	
電動弁	電動仕切弁 φ 100mm×0.2 kW	1 台	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 100 L/基	2 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 30 mL/min×1.0 MPa×15 W	2 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・炭山中継調整池受信 ・二尾圧力調整池受信	2 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

ポンプ場施設

◆施設名：笠取第2中継ポンプ場

HWL=128.5 m LWL=127.0 m

◆所在地：宇治市西笠取引坂 70-9・73-3

530 m²

◆水系：自己水及び府営水（二尾圧力調整池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 計20.2 m ³ 巾 1.95 m×長 2.3 m×深 1.5 m	3 池	竣工 平成10年 8月 改良 平成26年 3月
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 50mm×0.229 m ³ /min×77 m×7.5 kW	2 台	
調節弁	自動水位調整弁 75A	1 台	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 100 L/基	1 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 60 mL/min×1.0 MPa×18 W	1 台	
	68 mL/min×0.7 MPa×25 W	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・笠取第4ポンプ場受信	1 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

ポンプ場施設

◆施設名：笠取第4ポンプ場

HWL=178.0 m LWL=177.0 m

◆所在地：宇治市西笠取赤坂 21-9

420 m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第2中継ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 6.4 m ³ 巾 1.5 m×長 4.3m×深 1.0 m	1 池	竣工 平成 10年 3月
	ステンレスパネルタンク、有効容量7.5m ³ 巾2.5m×長3.0m×深1.0m	1 池	改良 平成26年 3月
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 50mm×0.229 m ³ /min×77 m×7.5 kW	2 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・笠取第5ポンプ場受信	1 局	
	テレメーター子局 ・笠取第2中継ポンプ場送信	1 局	

ポンプ場施設

◆施設名：笠取第1中継ポンプ場

HWL=164.6 m LWL=163.6 m

◆所在地：宇治市西笠取石原 7～11

2,112 m²

◆水系：自己水及び府営水（笠取第5配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	RC造、有効容量 3.2 m ³ 巾 1.2 m×長 2.7 m×深 1.0 m	1 池	竣工 昭和59年 8月
	RC造、有効容量 3.3 m ³ 巾 1.5 m×長 2.2m×深 1.0 m	1 池	改良 平成26年 6月
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ（第1配水池系） φ 40mm×0.10 m ³ /min×86 m×5.5 kW	2 台	
	（第3配水池系） φ 40mm×0.16 m ³ /min×72 m×5.5 kW	2 台	
調節弁	自動水位調整弁 75A	1 台	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 25 L/基	1 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 73 mL/min×1.0 MPa×18W	1 台	
	30 mL/min×1.0 MPa×15W	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター親局 ・笠取第1配水池受信 ・笠取第3ポンプ場受信	2 局	
	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

配水池及び加圧ポンプ場施設

◆施設名：折居台配水池及び折居台加圧ポンプ場

HWL=124.9 m LWL=119.9 m

◆所在地：宇治市折居台4丁目1-197

4,389 m²

◆水系：府営水（琵琶ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	PC造、有効容量 計6,002 m ³ φ 27.65 m×深 5 m	2 池	竣工 昭和57年 3月
配水ポンプ設備	加圧タンク方式 タンク内容量 4 m ³ 使用圧力 0.25～0.32 Mpa	1 基	増設 平成11年 2月
	多段渦巻ポンプ φ 80mm×0.64 m ³ /min×30 m×7.5 kW	3 台	（第2配水池）
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 800L/基	1 基	（滅菌設備）
	次亜塩素酸ソーダ注入機 30 mL/min×0.98 MPa×15 W	2 台	（緊急遮断弁）
緊急遮断弁	φ 500 mm（第2配水池に設置）	1 台	改良 平成20年 3月
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		（配水ポンプ設備）
	非常用発電機（ディーゼル） 41.2kW, 3 φ 200V, 60Hz	1 台	（非常用発電機）
監視設備	テレメーター子局 ・琵琶ポンプ場送信	1 局	

配水池及び加圧ポンプ場施設

◆施設名：羽戸山配水池及び羽戸山加圧ポンプ場

HWL=100.1 m LWL=95.1 m

◆所在地：宇治市羽戸山4丁目1-15

4,155 m²

◆水系：府営水（森本ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	PC造、有効容量 1,004 m ³ φ 16 m×深 5.0 m	1 池	竣工 昭和60年 2月
配水ポンプ設備	加圧タンク方式 タンク内容量 12 m ³ 使用圧力 0.25～0.33 Mpa	1 基	更新 平成25年 3月
	単段渦巻ポンプ φ 65mm×1.4 m ³ /min×15 m×7.5 kW	2 台	（配水ポンプ設備）
	φ 65mm×1.4 m ³ /min×15 m×7.5 kW（エンジン付）	1 台	
電動弁	電動仕切弁 φ 300mm×1.5 kW	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター子局 ・森本ポンプ場送信	1 局	

配水池及び加圧ポンプ場施設

◆施設名：平尾台配水池及び平尾台加圧ポンプ場

HWL=118.0 m LWL=113.0 m

◆所在地：宇治市平尾台4丁目17

4,359 m²

◆水系：自己水及び府営水（平尾台ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水池	PC造、有効容量 計1,207 m ³ φ 12.4 m×深 5.0 m	2 池	竣工 昭和63年 8月
配水ポンプ 設備	加圧タンク方式 タンク内容量 12 m ³ 使用圧力 0.25～0.40 MPa	1 基	増設 平成18年 3月
	多段渦巻ポンプ φ 80mm×0.7 m ³ /min×48 m×11 kW	2 台	(緊急遮断弁)
	φ 80mm×0.7 m ³ /min×48 m×11 kW (エンジン付)	1 台	
緊急遮断弁	φ 300 mm (第2配水池に設置)	1 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター子局 ・平尾台ポンプ場送信	1 局	

加圧ポンプ場施設

◆施設名：白川加圧ポンプ場

GL=93.95m

◆所在地：宇治市白川鍋倉山 42-6他

360 m²

◆水系：府営水（折居台配水池より流入）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
配水ポンプ 設備	加圧タンク方式 タンク内容量 15 m ³ 使用圧力 0.76～0.90 MPa	1 基	竣工 平成 8年 10月
	多段渦巻ポンプ φ 100mm×0.85 m ³ /min×83 m×22 kW	2 台	
	φ 100mm×0.85 m ³ /min×83 m×22 kW (エンジン付)	1 台	
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ貯留槽 容量 200 L/基	2 基	
	次亜塩素酸ソーダ注入機 68 mL/min×0.7 MPa×25 w	2 台	
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		
監視設備	テレメーター子局 ・宇治浄水場送信	1 局	

加圧ポンプ場施設

◆施設名：金井戸加圧ポンプ場

HWL=111.3 m LWL=109.7 m

◆所在地：宇治市宇治金井戸 7-2

188 m² (借地-宇治市)

◆水系：府営水（金井戸ポンプ場より送水）

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	ステンレスパネルタンク、有効容量 計56 m ³ 巾 2.5m×長 7m×深 1.6m	2 池	竣工 昭和59年 5月
	ステンレスパネルタンク、有効容量 22.4 m ³ 巾 2.0m×長 7m×深 1.6m	1 池	増設 平成 4年 3月
配水ポンプ 設備	加圧タンク方式 タンク内容量 3 m ³ 使用圧力 0.38～0.50 MPa	1 基	(受水槽・配水ポンプ)
	単段渦巻ポンプ φ 50mm×0.38 m ³ /min×35 m×5.5 kW	2 台	増設 平成11年11月
電気設備	受電電圧 220 V 及び110 V		(受水槽)
監視設備	テレメーター子局 ・金井戸ポンプ場送信	1 局	

加圧ポンプ場施設

◆施設名：土井谷加圧ポンプ場

HWL=196.0 m LWL=194.5 m

◆所在地：宇治市炭山土井谷 8-10

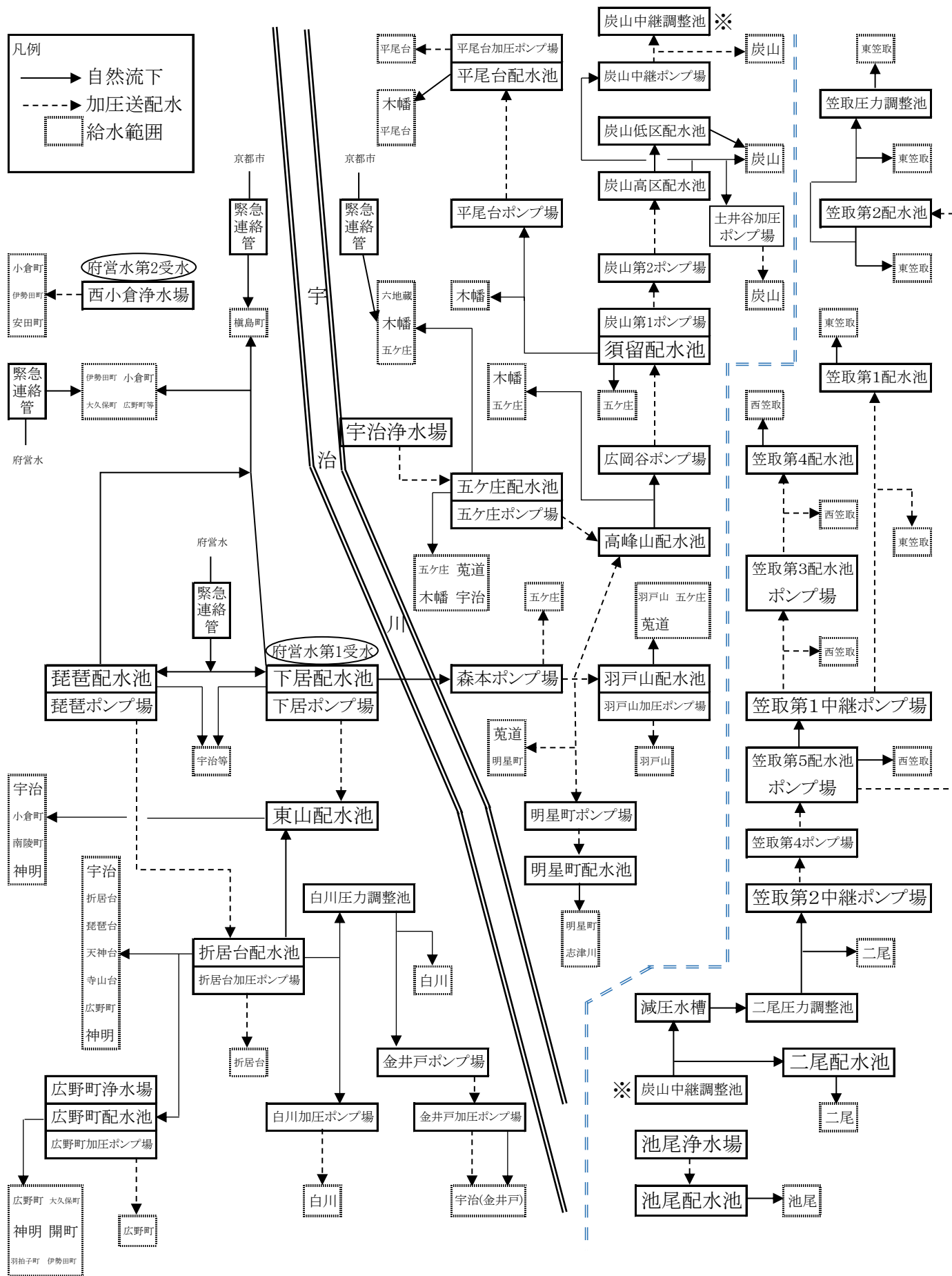
21.00 m²

◆水系：自己水及び府営水（炭山高区配水池より流入）

(H20.3(有敬和住宅より移管))

施設	構造・形式・能力	数量	摘要
受水槽	FRP製タンク（有効容量 8 m ³ ） 巾 1.5 m×長 3.5 m×深 1.5 m	1 池	移管 平成20年 3月
配水ポンプ 設備	加圧タンク方式 タンク内容量 10 L 使用圧力 0.55～0.60 MPa	1 基	更新 令和 4年 6月
	多段渦巻ポンプ φ 65mm×0.4 m ³ /min×60 m×3.7 kW	2 台	(配水ポンプ設備)
電気設備	受電電圧 220 V		

2) 施設系統図



4. 統 計

1) 年間配水量

年度 区分		R2	R3	R4	R5	R6
自己水	宇治浄水場	m ³ 4,974,656	m ³ 5,074,837	m ³ 4,727,365	m ³ 4,955,727	m ³ 4,869,286
	西小倉浄水場	1,054,210	1,101,531	1,016,196	985,473	1,038,499
	広野町浄水場	16,247	199,597	182,907	312,962	308,503
	神明浄水場	159,598	156,476	140,104	－	－
	奥広野浄水場	72,169	－	－	－	－
	開 浄 水 場	5,481	－	－	－	－
	池尾浄水場	2,018	1,816	2,207	1,944	1,486
	小 計	6,284,379	6,534,257	6,068,779	6,256,106	6,217,774
京 都 府 営 水 道		14,824,109	14,018,811	14,037,089	13,479,865	13,267,927
合 計		21,108,488	20,553,068	20,105,868	19,735,971	19,485,701
自 己 水 比 率		29.8%	31.8%	30.2%	31.7%	31.9%
京 都 府 営 水 道 比 率		70.2%	68.2%	69.8%	68.3%	68.1%

2) 水道水水質検査結果(給水)

令和6年度平均

区分		試験項目	単位	宇治浄水場	西小倉浄水場	広野町浄水場	池尾浄水場	府営水受水分	基準
		水温	℃	20.2	19.8	18.9	16.4	20.6	
健康に関する項目	病原生物	一般細菌	個/mL	0	0	0	0	0	100以下
		大腸菌		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
	無機物・重金属	カドミウム及びその化合物	mg/L	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.0003未満	0.003以下
		水銀及びその化合物	mg/L	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.00005未満	0.0005以下
		セレン及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
		鉛及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
		ヒ素及びその化合物	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
		六価クロム化合物	mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
		亜硝酸態窒素	mg/L	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.04以下
		シアン化物イオン及び塩化シアン	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
		硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	mg/L	1.2	1.2	1.8	0.5	0.3	10以下
		フッ素及びその化合物	mg/L	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.10	0.8以下
	ホウ素及びその化合物	mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1.0以下	
	有機化学物質	四塩化炭素	mg/L	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.0002未満	0.002以下
		1,4-ジオキサン	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.05以下
		シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.004未満	0.04以下
		ジクロロメタン	mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
		テトラクロロエチレン	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
		トリクロロエチレン	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
		ベンゼン	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
	消毒副生成物	塩素酸	mg/L	0.06未満	0.06未満	0.07	0.08	0.09	0.6以下
		クロロ酢酸	mg/L	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02以下
		クロロホルム	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.007	0.003	0.010	0.06以下
		ジクロロ酢酸	mg/L	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03以下
		ジブromクロロメタン	mg/L	0.002	0.001	0.002	0.001未満	0.003	0.1以下
		臭素酸	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01以下
		総トリハロメタン	mg/L	0.003	0.004	0.014	0.004	0.021	0.1以下
		トリクロロ酢酸	mg/L	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.03以下
		ブromジクロロメタン	mg/L	0.001未満	0.001未満	0.005	0.001	0.007	0.03以下
		ブromホルム	mg/L	0.001未満	0.002	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.09以下
	ホルムアルデヒド	mg/L	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.008未満	0.08以下	
性状に関する項目	着色・味	亜鉛及びその化合物	mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1.0以下
		アルミニウム及びその化合物	mg/L	0.02未満	0.04	0.03	0.02未満	0.04	0.2以下
		鉄及びその化合物	mg/L	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.03未満	0.3以下
		銅及びその化合物	mg/L	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1.0以下
		ナトリウム及びその化合物	mg/L	20	23	12	11	10	200以下
		マンガン及びその化合物	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.05以下
		塩化物イオン	mg/L	13	12	12	3.7	15	200以下
		カルシウム、マグネシウム等(硬度)	mg/L	61	58	36	9.8	40	300以下
	蒸発残留物	mg/L	139	168	89	42	78	500以下	
	発泡	陰イオン界面活性剤	mg/L	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.02未満	0.2以下
	カビ臭	ジエオスミン	mg/L	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001以下
		2-メチルイソボルネオール	mg/L	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.00001以下
	発泡	非イオン界面活性剤	mg/L	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.02以下
	臭気	フェノール類	mg/L	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.005以下
	味	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	mg/L	0.3未満	0.3未満	0.4	0.3未満	0.6	3以下
	基礎的性状	pH値		7.0	7.2	6.5	6.9	7.0	5.8-8.6
		味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
		臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
		色度	度	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	5以下
濁度		度	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	2以下	
消毒効果		残留塩素	mg/L	0.5	0.5	0.5	0.4	0.5	0.1以上

3) 給水工事受付状況

(単位：件)

年度 工種	R2	R3	R4	R5	R6
新 設	283	297	256	251	237
増 設	0	0	0	0	0
口 径 変 更 改 造	239	218	238	212	233
撤 去	6	7	6	10	9
改 造	749	707	711	661	662
布 設 替	1	1	1	3	2
計	1,278	1,230	1,212	1,137	1,143

(単位：件)

年度 種別	R2	R3	R4	R5	R6
家 庭 用	580	576	557	519	503
止 水 栓 止	17	11	10	17	20
配 水 管	18	15	17	16	21
営 業 用	44	40	36	30	40
流 末 装 置	27	26	19	20	16
工 場・事 業 所 用	30	31	23	19	20
臨 時 工 事 用	547	516	538	494	514
官 公 署・団 体 用	11	8	6	12	4
消 火 栓	0	0	0	0	0
撤 去	4	7	6	10	5
計	1,278	1,230	1,212	1,137	1,143

4) 水道使用料調定状況 (税込み)

年 度	令和4年度					令和5年度				令和6年度			
	件 数	水 量 m ³	金 額 円	構成比 %		件 数	水 量 m ³	金 額 円	構成比 %	件 数	水 量 m ³	金 額 円	構成比 %
家 庭 用	325,384	15,537,736	2,157,241,429	76.3		340,897	15,723,404	2,546,984,828	77.9	340,976	15,564,796	2,513,113,292	77.4
営 業 用	13,894	1,208,244	280,677,360	9.9		14,140	1,238,809	320,206,040	9.8	14,347	1,270,511	328,912,281	10.1
官公署・学 校・ 保育所・団体用	4,087	718,399	228,822,696	8.1		4,081	734,652	259,065,498	7.9	4,109	715,474	251,982,255	7.8
工場・事業所用	6,901	322,925	105,123,967	3.7		7,031	339,514	129,153,865	3.9	7,173	365,095	138,023,854	4.2
そ の 他	15,521	437,634	35,210,806	1.2		-	-	-	-	-	-	-	-
	12	475	54,753	0.0		12	466	63,086	0.0	12	493	68,269	0.0
	1,844	25,717	21,752,704	0.8		1,801	18,837	14,612,783	0.5	1,946	16,881	14,694,549	0.5
合 計	367,643	18,251,130	2,828,883,715	100.0		367,962	18,055,682	3,270,086,100	100.0	368,563	17,933,250	3,246,794,500	100.0

※低所得者用は令和4年10月から、減額制度へ移行。

5) 加入金調定状況(税込み)

口径 (mm)	単価(円) ※	年度	R2	R3	R4	R5	R6
13	116,000	件数	0	0	2	0	0
		金額 (円)	－	－	255,200	－	－
20	174,000	件数	246	994	308	278	281
		金額 (円)	47,084,400	190,251,600	58,951,200	53,209,200	53,783,400
25	378,000	件数	8	7	7	5	6
		金額 (円)	3,326,400	2,910,600	2,910,600	2,079,000	2,494,800
40	1,170,000	件数	1	2	2	1	1
		金額 (円)	1,287,000	2,574,000	2,574,000	1,287,000	1,287,000
50	2,012,000	件数	0	0	1	0	1
		金額 (円)	－	－	2,213,200	－	2,213,200
75	5,450,000	件数	0	0	1	0	1
		金額 (円)	－	－	5,995,000	－	5,995,000
100	流量比 等勘案	件数	0	0	0	0	0
		金額 (円)	－	－	－	－	－
口径 変更	新口径と 旧口径の 差額	件数	199	200	215	178	199
		金額 (円)	33,864,600	49,457,100	20,597,500	29,881,500	20,235,600
合 計		件数	454	1,203	536	462	489
		金額 (円)	85,562,400	245,193,300	93,496,700	86,456,700	86,009,000

※単価には10%の消費税及び地方消費税を加算する。

5. 水 道 の 財 政

1) 損益計算書(税抜き)

(単位：千円)

年度 区分	R2	R3	R4	R5	R6
水道事業収益 ①	3,566,129	3,632,219	3,632,594	3,866,824	3,877,110
営 業 収 益	2,794,065	3,088,115	2,824,930	3,276,965	3,275,072
給水収益	2,629,230	2,905,618	2,616,804	3,063,868	3,043,055
その他営業収益	164,835	182,497	208,126	213,097	232,017
営 業 外 収 益	763,641	544,032	807,607	589,833	600,584
受取利息	858	315	844	1,049	1,514
加入金	77,784	222,903	84,997	78,597	78,190
補助金	378,706	16,702	423,787	217,274	226,410
長期前受金戻入	299,614	299,881	293,210	288,088	287,959
雑収益	6,679	4,231	4,769	4,825	6,511
特 別 利 益	8,423	72	57	26	1,454
過年度損益修正益	558	72	57	26	184
その他特別利益	7,865	－	－	－	1,270
水道事業費用 ②	3,526,111	3,753,247	3,889,233	3,965,633	4,050,881
営 業 費 用	3,402,910	3,666,200	3,767,886	3,855,151	3,946,279
原水及び浄水費	1,611,474	1,742,310	1,872,990	1,867,275	1,870,450
配水及び給水費	588,018	630,597	566,906	619,030	639,037
業務費	182,361	183,135	186,013	193,251	182,561
総係費	215,347	230,570	223,726	212,729	260,892
減価償却費	793,073	868,657	902,778	952,166	987,987
資産減耗費	12,637	10,931	15,473	10,700	5,352
営 業 外 費 用	117,264	80,394	115,026	104,030	98,700
支払利息	80,494	75,989	73,365	81,557	93,270
雑支出	36,770	4,405	41,661	22,473	5,430
特 別 損 失	5,937	6,653	6,321	6,452	5,902
過年度損益修正損	5,937	6,653	6,321	6,452	5,902
当年度純損益 ①－②	40,018	△ 121,028	△ 256,639	△ 98,809	△ 173,771

2) 資本的收入及び支出(税込み)

(単位：千円)

年度 区分	R2	R3	R4	R5	R6
資本的收入 ①	2,220,858	1,647,094	1,782,940	1,936,663	2,029,225
企業債	1,319,300	1,168,000	1,547,100	1,493,800	1,580,500
寄付金	23,775	17,613	7,427	20	－
工事負担金	265,662	185,804	67,750	158,627	173,880
補助金	－	－	5,381	36,087	47,859
出資金	612,121	275,677	155,282	248,129	226,986
資本的支出 ②	3,099,620	2,418,192	2,661,511	2,699,076	2,641,561
建設改良費	2,652,519	1,970,593	2,106,837	2,290,996	2,259,261
施設改良費	2,645,116	1,963,340	2,028,579	2,267,664	2,257,584
営業設備費	7,403	7,253	78,258	23,332	1,677
企業債償還金	447,101	447,599	454,674	408,080	379,740
投資	－	－	100,000	－	－
その他資本的支出	－	－	－	－	2,560
収支不足額 ①－②	△ 878,762	△ 771,098	△ 878,571	△ 762,413	△ 612,336
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	198,959	148,140	171,336	178,841	175,421
損益勘定留保資金	679,803	622,958	707,235	583,572	436,915

3) 貸借対照表(税抜き)

資 産 の 部

(単位：千円)

年度 科目	R2	R3	R4	R5	R6
資 産	26,389,166	26,710,879	27,208,675	28,649,321	29,977,481
固 定 資 産	22,892,885	23,843,513	24,968,865	26,121,938	27,242,110
有 形 固 定 資 産	22,881,326	23,834,722	24,825,943	25,989,164	27,116,966
土 地	2,373,095	2,373,095	2,373,095	2,373,095	2,373,095
建 物	553,760	677,549	762,343	731,902	703,542
構 築 物	15,343,317	16,321,130	17,084,495	17,173,031	18,414,647
機 械 及 び 装 置	1,685,574	2,351,200	2,264,681	2,739,528	2,689,249
車 両 及 び 運 搬 具	6,942	4,627	3,416	2,889	3,250
工 具 器 具 及 び 備 品	23,355	36,982	60,886	50,517	38,548
建 設 仮 勘 定	2,895,283	2,070,139	2,277,027	2,918,202	2,894,635
無 形 固 定 資 産	11,559	8,791	42,922	32,774	25,144
水 利 権	4,005	3,755	3,504	3,254	3,004
ソ フ ト ウ ェ ア	7,554	5,036	39,418	29,520	22,140
投 資 そ の 他 の 資 産	-	-	100,000	100,000	100,000
投 資 有 価 証 券	-	-	100,000	100,000	100,000
流 動 資 産	3,496,281	2,867,366	2,239,810	2,527,383	2,735,371
現 金 預 金	2,204,587	1,910,032	1,455,780	1,840,390	2,155,137
未 収 金	955,368	638,135	530,442	563,689	532,910
貸 倒 引 当 金	7,749	7,064	7,654	7,966	5,873
貯 蔵 品	49,725	47,773	50,551	53,030	53,197
前 払 金	294,350	278,490	210,691	78,240	-

負債・資本の部

(単位：千円)

科目 \ 年度	R2	R3	R4	R5	R6
負債・資本	26,389,166	26,710,879	27,208,675	28,649,321	29,977,481
負債	15,492,885	15,659,949	16,259,103	17,550,427	18,825,373
固定負債	7,484,540	8,200,467	9,344,606	10,464,808	11,617,199
企業債	7,134,184	7,847,510	8,986,530	10,100,590	11,246,078
引当金	350,356	352,957	358,076	364,218	371,121
退職給付引当金	350,356	352,957	358,076	364,218	371,121
流動負債	2,090,777	1,630,084	1,290,038	1,551,388	1,712,560
企業債	447,599	454,675	408,080	379,740	435,012
未払金	1,291,618	826,126	546,043	824,049	925,600
前受金	161	40	81	27	682
引当金	46,556	46,176	45,346	46,656	43,919
賞与引当金	46,556	46,176	45,346	46,656	43,919
その他流動負債	304,843	303,067	290,488	300,916	307,347
預り金	304,843	303,067	290,488	300,916	307,347
繰延収益	5,917,568	5,829,398	5,624,459	5,534,231	5,495,614
長期前受金	5,917,568	5,829,398	5,624,459	5,534,231	5,495,614
資本	10,896,281	11,050,930	10,949,572	11,098,894	11,152,108
資本金	8,922,013	9,197,691	9,352,972	9,601,102	9,828,088
自己資本金	8,922,013	9,197,691	9,352,972	9,601,102	9,828,088
剰余金	1,974,268	1,853,239	1,596,600	1,497,792	1,324,020
資本剰余金	822,876	822,876	822,876	822,877	822,876
受贈財産評価額	762,990	762,990	762,990	762,991	762,990
国庫補助金	31,460	31,460	31,460	31,460	31,460
府補助金	8,444	8,444	8,444	8,444	8,444
負担金	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
一般会計繰入額	10,082	10,082	10,082	10,082	10,082
利益剰余金	1,151,392	1,030,363	773,724	674,915	501,144
当年度未処分利益剰余金	1,151,392	1,030,363	773,724	674,915	501,144

4) 費用構成比(税抜き)

区分		令和2年度			令和3年度		
		費 用	費用 構成比	給水原価	費 用	費用 構成比	給水原価
人 件 費	基 本 給	円 218,889,728	% 6.2	円 10.5	円 216,937,957	% 5.8	円 10.7
	手 当	118,885,066	3.4	5.7	112,856,239	3.0	5.5
	報 酬	15,875,100	0.4	0.8	13,502,041	0.4	0.7
	退 職 給 付 費	34,959,892	1.0	1.7	35,122,388	0.9	1.7
	法 定 福 利 費	73,789,629	2.1	3.6	70,640,788	1.9	3.5
	計	462,399,415	13.1	22.3	449,059,413	12.0	22.1
支 払 利 息		80,494,416	2.3	3.9	75,989,552	2.0	3.7
減 価 償 却 費		793,073,432	22.5	38.2	868,657,189	23.2	42.8
動 力 費		133,264,917	3.8	6.4	140,315,745	3.7	6.8
光 熱 水 費		3,114,692	0.1	0.1	3,308,796	0.1	0.2
通 信 運 搬 費		12,244,052	0.3	0.6	11,746,466	0.3	0.6
修 繕 費		242,359,055	6.9	11.7	273,227,781	7.3	13.5
材 料 費		579,900	0.0	0.0	714,000	0.0	0.0
薬 品 費		9,641,205	0.3	0.5	10,423,238	0.3	0.6
路 面 復 旧 費		55,975,326	1.6	2.7	75,716,074	2.0	3.7
委 託 料		223,776,008	6.4	10.8	258,934,881	6.9	12.7
受 水 費		1,423,658,144	40.4	68.5	1,538,713,508	41.1	75.9
そ の 他		79,593,333	2.3	3.8	39,787,946	1.1	2.0
合 計		3,520,173,895	100.0	169.5	3,746,594,589	100.0	184.6

(注) 基本給＝給料+扶養手当+地域手当

令和4年度			令和5年度			令和6年度		
費 用	費用 構成比	給水原価	費 用	費用 構成比	給水原価	費 用	費用 構成比	給水原価
円	%	円	円	%	円	円	%	円
219,308,222	5.6	11.0	225,302,716	5.7	11.6	198,846,401	4.9	10.3
115,105,883	3.0	5.9	121,522,880	3.1	6.3	110,287,633	2.7	5.7
12,837,191	0.3	0.6	13,580,418	0.3	0.6	20,411,694	0.5	1.0
23,479,458	0.6	1.2	14,319,736	0.4	0.8	55,167,536	1.4	2.9
72,379,075	1.9	3.7	73,140,572	1.8	3.7	64,661,665	1.6	3.4
443,109,829	11.4	22.4	447,866,322	11.3	23.0	449,374,929	11.1	23.3
73,365,385	1.9	3.7	81,556,925	2.1	4.3	93,270,268	2.3	4.8
902,777,996	23.2	45.7	952,165,715	24.0	48.8	987,987,285	24.4	51.1
185,046,801	4.8	9.4	146,287,838	3.7	7.5	164,484,161	4.1	8.6
4,670,489	0.1	0.2	3,615,983	0.1	0.2	4,134,837	0.1	0.2
12,758,150	0.3	0.6	11,787,232	0.3	0.6	13,297,685	0.3	0.6
190,932,221	4.9	9.7	276,048,791	7.0	14.2	261,077,832	6.4	13.4
618,180	0.0	0.0	618,133	0.0	0.0	547,240	0.0	0.0
11,162,225	0.3	0.6	14,704,110	0.4	0.8	15,638,871	0.4	0.9
73,586,419	1.9	3.7	58,543,082	1.5	3.0	55,219,330	1.4	2.9
254,649,136	6.6	13.0	272,760,793	6.9	14.0	342,019,132	8.5	17.8
1,649,729,852	42.5	83.6	1,635,571,860	41.3	84.0	1,626,212,136	40.2	84.2
80,505,215	2.1	4.1	57,654,243	1.4	2.9	31,715,542	0.8	1.7
3,882,911,898	100.0	196.7	3,959,181,027	100.0	203.3	4,044,979,248	100.0	209.5

5) 経営・財務分析に関する調べ

項目	年度	R4	R5	R6	算 出 方 式	解 説
総 収 支 比 率	%	93.4	97.5	95.7	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の相対的な関連を示すものである。 この数値が100%以下なら赤字であり、100%以上が望ましい。
経 常 収 支 比 率	%	93.6	97.7	95.8	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	経常収益(営業収益+営業外収益)と経常費用(営業費用+営業外費用)を対比したものであり、100%以下では収支が均衡しておらず赤字の原因となるので、100%以上が望ましい。
営 業 収 支 比 率	%	75.0	85.0	83.0	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の収支の均衡が判断される。 100%以上が望ましい。
企業債償還元金対減価償却費比率	%	74.6	61.5	54.2	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}-\text{長期前受金戻入}} \times 100$	企業債元金が、その補てん財源である減価償却費に占める割合を表す。比率は低いほどよい。 ※借換による企業債償還額は除く
有 形 固 定 資 産 減 価 償 却 費 率	%	50.6	50.9	50.6	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$	償却資産における減価償却済の部分の割合を示す。減価償却の進み具合や資産の経過年数がわかる。
流 動 比 率	%	173.6	162.9	159.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債(短期債務)とを比較するもの。 100%以上が望ましい。
自己資本構成比率	%	60.9	58.1	55.5	$\frac{\text{自己資本金}+\text{剰余金}+\text{繰延収益}}{\text{負債}+\text{資本合計}} \times 100$	負債・資本合計に占める自己資本金の割合を示すもので比率は大きいほど経営の安全性は高い。 通常、公営企業では企業債で施設建設を行うため、一般的に低率である。
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	%	96.3	96.4	96.4	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本}+\text{固定負債}+\text{繰延収益}} \times 100$	固定資産への投資の健全性を示すもので、100%以下が望ましい。100%を超えた場合は固定資産の一部が一時借入金などの流動負債によって調達されたことを示し、過大投資が行われたものといえる。
施 設 利 用 率	%	61.3	59.6	59.0	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	1日配水能力に対する1日平均配水量の割合を示すもの。この比率が高いほど施設の効率的な利用を意味し、低ければそれだけ施設が遊休していることになる。
最 大 稼 動 率	%	66.8	66.2	65.7	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	1日配水能力に対する1日最大配水量の割合を示すものであり、現有施設の配水能力が過大投資なのか、逆に現有施設が将来にわたり適正な配水施設なのかを判断するためのもの。高いほど望ましいが、90%を大きく超える場合は、配水施設の能力が限界に近づいていることを意味し、必ずしも好ましい状態ではない。
負 荷 率	%	91.8	90.0	89.9	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	年間を通じて最も多く配水した特定日の配水量に対する年間平均配水量の割合を示すもの。この比率が100%に近づくほど施設の稼働状態がよいことになる。ただし、水道事業は需要に季節変動があることが多いため、負荷率は比較的高くない。
有 収 率	%	90.8	91.5	92.0	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	総配水量に対し、料金として徴収されている水量の割合を示す。有収率は100%に近いほど望ましい。比率が低いことは漏水・メーター不感・公共用水・消防用水が多いことなどが考えられる。
固定資産使用効率 (1万円当たり)	m ³	8.1	7.6	7.2	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	有形固定資産に対する年間総配水量の割合であり、この比率が高いほど施設が効率的であり、低い場合は遊休資産・未稼働資産が多くあることになる。
配水管使用効率 (1m当たり)	m ³	28.6	27.8	27.7	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	導・送・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、施設の効率を示す指標である。比率が高いほど給水人口密度が高く、使用効率が高い。
管 路 経 年 化 率	%	27.9	28.9	33.3	$\frac{\text{法定耐用年数を経過した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	法定耐用年数を超えた管路延長の割合を示す。
管 路 更 新 率	%	0.7	0.7	0.4	$\frac{\text{当該年度に更新した管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$	当該年度に更新した管路延長の割合を示す。

年度 項目		R4	R5	R6	算 出 方 式	解 説
職 員 1 人 当 たり 給 水 人 口	人	3,064	3,147	3,362	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	事業規模に対する職員数の適否を検討することにより、労働生産性の良否を示すものである。数値は大きいほどよい。
職 員 1 人 当 たり 有 収 水 量	m³	309,341	316,766	338,363	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	事業規模に対する職員数の適否を検討することにより、労働生産性の良否を示すものである。数値は大きいほどよい。
給 水 原 価 (1 m³ 当 たり)	円	196.7	203.3	209.5	$\frac{(\text{総費用} - \text{長期前受金戻入} - \text{特別損失}) - \text{受託工事費} - \text{材料売却原価}}{\text{年間総有収水量}}$	水1m³を販売するのにいくらの費用を要するのかをみる指標である。給水原価が供給単価を上回っている状態では、水を販売するごとに赤字を生ずることになるので、適正な原価を基礎としての料金の見直しが必要となる。
供 給 単 価 (1 m³ 当 たり)	円	143.4	169.7	169.7	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	水1m³当たりの販売単価がいくらであるかをみる指標である。当初計画どおりの有収水量があり、なおかつ所要の供給単価より低くなる場合には、使用水量別供給単価の見直しが必要となる。
料 金 回 収 率	%	72.9	83.5	81.0	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	100%を下回っている場合、給水に係る費用が料金収入以外で賄われていることを示す。
料金収入に対する 職員給与費の割合	%	16.9	14.6	14.8	$\frac{\text{職員給与費(受託工事費を除く)}}{\text{料金収入}} \times 100$	職員給与費の料金収入に対する割合を表す指標であり、この比率が高いほど固定費が増し、財政硬直化の原因となり財政悪化を意味する。
給水収益に対する 企 業 債 残 高	%	359.0	342.1	383.9	$\frac{\text{企業債残高}}{\text{給水収益}} \times 100$	給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。
利 子 負 担 率	%	0.8	0.8	0.8	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費} + \text{建設改良費等の財源に充てるための企業債・長期借入金} + \text{その他の企業債・長期借入金} + \text{再建債} + \text{リース債務} + \text{一時借入金}}{\text{}} \times 100$	値が高いと、企業債借入が経営を圧迫しているといえる。

6. 水道料金等の変遷

1) 水道使用料

種別	年 料率	当初			昭和31年4月～昭和37年3月		
		水道使用料金額		1m ³ につき	水道使用料金額		1m ³ につき
		基本料 (1戸1ヵ月)	基本水量	超過料金	基本料 (1戸1ヵ月)	基本水量	超過料金
第1種	専用	160円	8m ³	22円	160円	8m ³	22円
	共用	110円	7m ³	17円	110円	7m ³	17円
第2種		200円	10m ³	22円	200円	10m ³	22円
第3種		2,400円	200m ³	15円	2,800円	200m ³	18円
第4種	湯屋	2,000円	200m ³	6円	2,000円	200m ³	12円
	その他	2,400円	200m ³	15円	2,800円	200m ³	18円
第5種		500円	10m ³	60円	500円	10m ³	60円

昭和37年4月～昭和42年11月						昭和42年12月～昭和48年4月						
用途\使用料			基本使用料 (1ヵ月につき)		超 過 使用料 1m ³ につき	用途\使用料			基本使用料 (1ヵ月につき)		超過使用料 (1m ³ につき)	
			水量	使用料					水量	使用料	1段	2段
専用給水装置	一般用	家庭用	8m ³	160円	22円	家庭用	8m ³	240円	9m ³ から 20m ³ まで 35円	21m ³ 以上 40円		
		官公署・学校 病院・工場	200m ³	2,800円	13円	低所得者用	8m ³	160円	9m ³ 以上 30円			
		噴水・撒水 娯楽用・その他	10m ³	500円	60円	官公署 学校団体用	10m ³	430円	11m ³ 以上 45円			
	営業用		10m ³	200円	22円	病院診療所用	10m ³	310円	11m ³ から 20m ³ まで 35円	21m ³ 以上 40円		
	浴場営業用		200m ³	2,000円	12円	工場事業所用	10m ³	450円	11m ³ から 20m ³ まで 35円	21m ³ 以上 53円		
	共用給水装置		7m ³	110円	17円	営業用	8m ³	240円	9m ³ から 20m ³ まで 48円	21m ³ 以上 42円		
					浴場営業用	8m ³	240円	9m ³ から 20m ³ まで 35円	21m ³ 以上 28円			
					撒水用	20m ³	1,200円	21m ³ 以上 65円				
					臨時工事用	50m ³	3,000円	51m ³ 以上 65円				
					共用給水用	7m ³	170円	8m ³ 以上 30円				

昭和48年5月～昭和51年1月

(1ヵ月につき)

用途\使用料		基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)		
		水量	使用料	1段	2段	3段
専 用 給 水 装 置	家庭用	8m ³	290円	9m ³ から20m ³ まで 43円	21m ³ から40m ³ まで 50円	41m ³ 以上 53円
	低所得者用	8m ³	160円	9m ³ 以上 36円		
	官公署・学校 ・団体用	10m ³	500円	11m ³ から20m ³ まで 55円	21m ³ 以上 60円	
	病院診療所用	10m ³	380円	11m ³ から20m ³ まで 43円	21m ³ から40m ³ まで 50円	41m ³ 以上 54円
	工場事業所用	10m ³	550円	11m ³ から20m ³ まで 60円	21m ³ 以上 65円	
	営業用	8m ³	290円	9m ³ から20m ³ まで 43円	21m ³ から40m ³ まで 52円	41m ³ 以上 55円
	浴場営業用	8m ³	290円	9m ³ から20m ³ まで 43円	21m ³ 以上 32円	
	臨時工事用	50m ³	4,000円	51m ³ 以上 80円		
共 用 栓		7m ³	200円	8m ³ 以上 36円		

昭和51年2月～昭和54年10月

(1ヵ月につき)

用途\使用料		基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)					
		水量	使用料	1段	2段	3段	4段	5段	6段
家庭用		8m ³	370円	9m ³ から 14m ³ まで 55円	15m ³ から 20m ³ まで 60円	21m ³ から 30m ³ まで 70円	31m ³ から 40m ³ まで 75円	41m ³ から 60m ³ まで 80円	61m ³ 以上 85円
営業用		8m ³	370円	9m ³ から 14m ³ まで 55円	15m ³ から 20m ³ まで 65円	21m ³ から 40m ³ まで 80円	41m ³ 以上 85円		
官公署団体用		10m ³	800円	11m ³ から 20m ³ まで 85円	21m ³ から 40m ³ まで 95円	41m ³ から 100m ³ まで 100円	101m ³ から 500m ³ まで 105円	501m ³ から 1,000m ³ まで 110円	1,001m ³ 以上 115円
工場事業所用		10m ³	900円	11m ³ から 20m ³ まで 95円	21m ³ から 40m ³ まで 105円	41m ³ から 100m ³ まで 115円	101m ³ から 500m ³ まで 125円	501m ³ から 1,000m ³ まで 135円	1,001m ³ 以上 145円
病院診療所用		10m ³	490円	11m ³ から 14m ³ まで 55円	15m ³ から 20m ³ まで 65円	21m ³ から 40m ³ まで 75円	41m ³ 以上 85円		
浴場営業用		8m ³	370円	9m ³ から 14m ³ まで 55円	15m ³ から 20m ³ まで 65円	21m ³ 以上 40円			
臨時工事用		50m ³	6,000円	51m ³ 以上 120円					
共用		7m ³	270円	8m ³ 以上 50円					
学校保育所用		10m ³	800円	11m ³ から 20m ³ まで 85円	21m ³ 以上 95円				
低所得者用		8m ³	200円	9m ³ 以上 40円					

昭和54年11月～昭和59年3月

(1ヵ月につき)

用途\使用料	基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)					
	水量	使用料	1段	2段	3段	4段	5段	6段
家庭用	8m ³	450円	9m ³ から 14m ³ まで 65円	15m ³ から 20m ³ まで 75円	21m ³ から 30m ³ まで 85円	31m ³ から 40m ³ まで 90円	41m ³ から 60m ³ まで 100円	61m ³ 以上 110円
営業用	8m ³	450円	9m ³ から 14m ³ まで 65円	15m ³ から 20m ³ まで 80円	21m ³ から 40m ³ まで 100円	41m ³ から 60m ³ まで 110円	61m ³ 以上 115円	
官公署・学校 ・保育所 ・団体用	10m ³	1,000円	11m ³ から 20m ³ まで 105円	21m ³ から 40m ³ まで 115円	41m ³ から 100m ³ まで 120円	101m ³ から 500m ³ まで 130円	501m ³ から 1,000m ³ まで 135円	1,001m ³ 以上 140円
工場 ・事業所用	10m ³	1,150円	11m ³ から 20m ³ まで 115円	21m ³ から 40m ³ まで 125円	41m ³ から 100m ³ まで 140円	101m ³ から 500m ³ まで 155円	501m ³ から 1,000m ³ まで 170円	1,001m ³ 以上 190円
低所得者用	8m ³	240円	9m ³ から 14m ³ まで 45円	15m ³ から 20m ³ まで 50円	21m ³ 以上 55円			
浴場営業用	8m ³	450円	9m ³ から 14m ³ まで 65円	15m ³ から 20m ³ まで 80円	21m ³ 以上 55円			
臨時工事用	50m ³	7,500円	51m ³ 以上 150円					

昭和59年4月～平成6年3月

(1ヵ月につき)

用途\使用料	基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)					
	水量	使用料	1段	2段	3段	4段	5段	6段
家庭用	8m ³	570円	9m ³ から 14m ³ まで 85円	15m ³ から 20m ³ まで 95円	21m ³ から 30m ³ まで 105円	31m ³ から 40m ³ まで 115円	41m ³ から 60m ³ まで 125円	61m ³ 以上 135円
営業用	8m ³	570円	9m ³ から 14m ³ まで 85円	15m ³ から 20m ³ まで 95円	21m ³ から 40m ³ まで 125円	41m ³ から 60m ³ まで 140円	61m ³ から 500m ³ まで 145円	501m ³ 以上 150円
官公署・学校 ・保育所 ・団体用	10m ³	1,270円	11m ³ から 20m ³ まで 135円	21m ³ から 40m ³ まで 145円	41m ³ から 100m ³ まで 155円	101m ³ から 500m ³ まで 165円	501m ³ から 1,000m ³ まで 170円	1,001m ³ 以上 180円
工場 ・事業所用	10m ³	1,500円	11m ³ から 20m ³ まで 150円	21m ³ から 40m ³ まで 160円	41m ³ から 100m ³ まで 180円	101m ³ から 500m ³ まで 200円	501m ³ から 1,000m ³ まで 215円	1,001m ³ 以上 220円
低所得者用	8m ³	300円	9m ³ から 14m ³ まで 55円	15m ³ から 20m ³ まで 60円	21m ³ 以上 70円			
浴場営業用	8m ³	570円	9m ³ から 14m ³ まで 85円	15m ³ から 20m ³ まで 95円	21m ³ 以上 55円			
臨時工事用	50m ³	10,000円	51m ³ 以上 200円					

平成6年4月～平成9年3月

(1ヵ月につき)

用途\使用料	基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)					
	水量	使用料	1段	2段	3段	4段	5段	6段
家庭用	8m ³	670円	9m ³ から 14m ³ まで 100円	15m ³ から 20m ³ まで 110円	21m ³ から 30m ³ まで 125円	31m ³ から 40m ³ まで 140円	41m ³ から 60m ³ まで 150円	61m ³ 以上 165円
営業用	8m ³	670円	9m ³ から 14m ³ まで 100円	15m ³ から 20m ³ まで 110円	21m ³ から 40m ³ まで 145円	41m ³ から 60m ³ まで 165円	61m ³ から 500m ³ まで 175円	501m ³ 以上 180円
官公署・学校 ・保育所 ・団体用	10m ³	1,510円	11m ³ から 20m ³ まで 160円	21m ³ から 40m ³ まで 170円	41m ³ から 100m ³ まで 180円	101m ³ から 500m ³ まで 195円	501m ³ から 1,000m ³ まで 205円	1,001m ³ 以上 220円
工場 ・事業所用	10m ³	1,780円	11m ³ から 20m ³ まで 180円	21m ³ から 40m ³ まで 190円	41m ³ から 100m ³ まで 215円	101m ³ から 500m ³ まで 240円	501m ³ から 1,000m ³ まで 255円	1,001m ³ 以上 265円
低所得者用	8m ³	350円	9m ³ から 14m ³ まで 65円	15m ³ から 20m ³ まで 70円	21m ³ 以上 80円			
浴場営業用	8m ³	670円	9m ³ から 14m ³ まで 100円	15m ³ から 20m ³ まで 110円	21m ³ 以上 65円			
臨時工事用	50m ³	12,000円	51m ³ 以上 240円					

平成9年4月～平成10年3月

[税抜き](1ヵ月につき)

用途\使用料	基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)					
	水量	使用料	1段	2段	3段	4段	5段	6段
家庭用	8m ³	650円	9m ³ から 14m ³ まで 97円	15m ³ から 20m ³ まで 106円	21m ³ から 30m ³ まで 121円	31m ³ から 40m ³ まで 135円	41m ³ から 60m ³ まで 145円	61m ³ 以上 160円
営業用	8m ³	650円	9m ³ から 14m ³ まで 97円	15m ³ から 20m ³ まで 106円	21m ³ から 40m ³ まで 140円	41m ³ から 60m ³ まで 160円	61m ³ から 500m ³ まで 169円	501m ³ 以上 174円
官公署・学校 ・保育所 ・団体用	10m ³	1,465円	11m ³ から 20m ³ まで 155円	21m ³ から 40m ³ まで 165円	41m ³ から 100m ³ まで 174円	101m ³ から 500m ³ まで 189円	501m ³ から 1,000m ³ まで 199円	1,001m ³ 以上 213円
工場 ・事業所用	10m ³	1,725円	11m ³ から 20m ³ まで 174円	21m ³ から 40m ³ まで 184円	41m ³ から 100m ³ まで 208円	101m ³ から 500m ³ まで 233円	501m ³ から 1,000m ³ まで 247円	1,001m ³ 以上 257円
低所得者用	8m ³	340円	9m ³ から 14m ³ まで 63円	15m ³ から 20m ³ まで 67円	21m ³ 以上 77円			
浴場営業用	8m ³	650円	9m ³ から 14m ³ まで 97円	15m ³ から 20m ³ まで 106円	21m ³ 以上 63円			
臨時工事用	50m ³	11,650円	51m ³ 以上 233円					

※料金の額は、上記区分により算定した額に100分の105を乗じて得た額。

(1円未満の端数が生じたときはその端数は切捨て)

平成10年4月～平成28年3月

〔税抜き〕(1ヵ月につき)

用途\使用料	基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)					
	水量	使用料	1段	2段	3段	4段	5段	6段
家庭用	8m ³	770円	9m ³ から 14m ³ まで 115円	15m ³ から 20m ³ まで 126円	21m ³ から 30m ³ まで 143円	31m ³ から 40m ³ まで 160円	41m ³ から 60m ³ まで 172円	61m ³ 以上 190円
営業用	8m ³	770円	9m ³ から 14m ³ まで 115円	15m ³ から 20m ³ まで 126円	21m ³ から 40m ³ まで 166円	41m ³ から 60m ³ まで 190円	61m ³ から 500m ³ まで 200円	501m ³ 以上 206円
官公署・学校 ・保育所 ・団体用	10m ³	1,735円	11m ³ から 20m ³ まで 184円	21m ³ から 40m ³ まで 196円	41m ³ から 100m ³ まで 206円	101m ³ から 500m ³ まで 224円	501m ³ から 1,000m ³ まで 236円	1,001m ³ 以上 252円
工場 ・事業所用	10m ³	2,045円	11m ³ から 20m ³ まで 206円	21m ³ から 40m ³ まで 218円	41m ³ から 100m ³ まで 246円	101m ³ から 500m ³ まで 276円	501m ³ から 1,000m ³ まで 293円	1,001m ³ 以上 305円
低所得者用	8m ³	400円	9m ³ から 14m ³ まで 75円	15m ³ から 20m ³ まで 79円	21m ³ 以上 91円			
浴場営業用	8m ³	770円	9m ³ から 14m ³ まで 115円	15m ³ から 20m ³ まで 126円	21m ³ 以上 75円			
臨時工事用	50m ³	13,800円	51m ³ 以上 276円					

※料金の額は、平成26年3月31日までは上記区分により算定した額に100分の105を乗じて得た額。
平成26年4月1日以降は上記区分により算定した額に100分の108を乗じて得た額。
(1円未満の端数が生じたときはその端数は切捨て)

平成28年4月～令和4年9月

〔税抜き〕(1ヵ月につき)

用途\使用料	基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)			
	水量	使用料	1段	2段	3段	4段
家庭用	8m ³	910円	9m ³ から 20m ³ まで 143円	21m ³ から 40m ³ まで 174円	41m ³ から 60m ³ まで 185円	61m ³ 以上 202円
営業用	8m ³	910円	9m ³ から 20m ³ まで 143円	21m ³ から 40m ³ まで 189円	41m ³ から 500m ³ まで 239円	501m ³ 以上 249円
官公署・学校 ・保育所 ・団体用	10m ³	2,410円	11m ³ から 20m ³ まで 214円	21m ³ から 100m ³ まで 242円	101m ³ から 1,000m ³ まで 276円	1,001m ³ 以上 310円
工場 ・事業所用	10m ³	2,410円	11m ³ から 20m ³ まで 243円	21m ³ から 100m ³ まで 289円	101m ³ から 1,000m ³ まで 328円	1,001m ³ 以上 336円
低所得者用	8m ³	540円	9m ³ から 20m ³ まで 86円	21m ³ から 40m ³ まで 104円	41m ³ から 60m ³ まで 111円	61m ³ 以上 121円
浴場営業用	8m ³	910円	9m ³ から 20m ³ まで 143円	21m ³ 以上 86円		
臨時工事用	25m ³	7,890円	26m ³ 以上 315円			

※料金の額は、令和元年9月30日までは上記区分により算定した額に100分の108を乗じて得た額。
令和元年10月1日以降は上記区分により算定した額に100分の110を乗じて得た額。
(1円未満の端数が生じたときはその端数は切捨て)

令和4年10月～(現行)

〔税抜き〕(1か月につき)

用途\使用料	基本使用料		超過使用料(1m ³ につき)			
	水量	使用料	1段	2段	3段	4段
家庭用	8m ³	1,030円	9m ³ から 20m ³ まで 161円	21m ³ から 40m ³ まで 196円	41m ³ から 60m ³ まで 208円	61m ³ 以上 227円
営業用	8m ³	1,030円	9m ³ から 20m ³ まで 161円	21m ³ から 40m ³ まで 213円	41m ³ から 500m ³ まで 269円	501m ³ 以上 280円
官公署・学校 ・保育所 ・団体用	10m ³	2,730円	11m ³ から 20m ³ まで 241円	21m ³ から 100m ³ まで 272円	101m ³ から 1,000m ³ まで 310円	1,001m ³ 以上 349円
工場 ・事業所用	10m ³	2,730円	11m ³ から 20m ³ まで 273円	21m ³ から 100m ³ まで 325円	101m ³ から 1,000m ³ まで 350円	1,001m ³ 以上 365円
浴場営業用	8m ³	1,030円	9m ³ から 20m ³ まで 161円	21m ³ 以上 97円		
臨時工事用	10m ³	3,660円	11m ³ 以上 366円			

※料金の額は、上記区分により算定した額に100分の110を乗じて得た額。

(1円未満の端数が生じたときはその端数は切捨て)

※低所得者用は令和4年10月から、減額制度へ移行。

2) メーター使用料

〔税抜き〕(1個1か月につき)

口 径	昭和37年4月～	昭和42年11月～	昭和51年2月～	令和4年10月～
13 ミリメートル	30円	40円	40円	130円
20 ミリメートル	45円	60円	80円	140円
25 ミリメートル	55円	70円	90円	170円
40 ミリメートル	100円	150円	160円	260円
50 ミリメートル	200円	400円	900円	840円
75 ミリメートル	350円	500円	1,200円	1,230円
100 ミリメートル	400円	600円	1,500円	1,710円
125 ミリメートル	600円	800円	1,500円	3,650円
150 ミリメートル	700円	1,000円	2,900円	3,700円

※平成9年4月1日から平成26年3月31日までは表中の定める額に100分の105を乗じて得た額。

平成26年4月1日から令和元年9月30日までは表中の定める額に100分の108を乗じて得た額。

令和元年10月1日以降は表中の定める額に100分の110を乗じて得た額。

(1円未満の端数が生じたときはその端数は切捨て)

3) 加入金

〔税抜き〕（単位：円）

給水管の 呼び径	S46.4.1～	S48.4.1～	S51.2.1～	S54.11.1～	S57.4.1～	S59.4.1～	H6.4.1～	H9.4.1～	H10.4.1～
	加 入 金 の 額（新 設）								
13 mm	20,000	30,000	45,000	50,000	65,000	78,000	98,000	95,100	116,000
20 mm	30,000	45,000	68,000	75,000	100,000	120,000	150,000	145,600	174,000
25 mm	65,000	98,000	147,000	160,000	210,000	250,000	313,000	303,800	378,000
40 mm	201,000	302,000	453,000	500,000	650,000	780,000	980,000	951,400	1,170,000
50 mm	346,000	519,000	779,000	850,000	1,100,000	1,320,000	1,650,000	1,601,900	2,012,000
75 mm	936,000	1,404,000	2,106,000	2,300,000	3,000,000	3,600,000	4,500,000	4,368,900	5,450,000
100 mm 以上	流量比等を勘案して管理者が定める額								

※改造は、新口径による加入金の額と旧口径による加入金の額との差額とする。

平成6年4月1日から給水管の呼び径を13mmから20mmに増径する場合は、当該差額の2分の1の額。

平成9年4月1日から平成26年3月31日までは表中の定める額に100分の105を乗じて得た額。

平成26年4月1日から令和元年9月30日までは表中の定める額に100分の108を乗じて得た額。

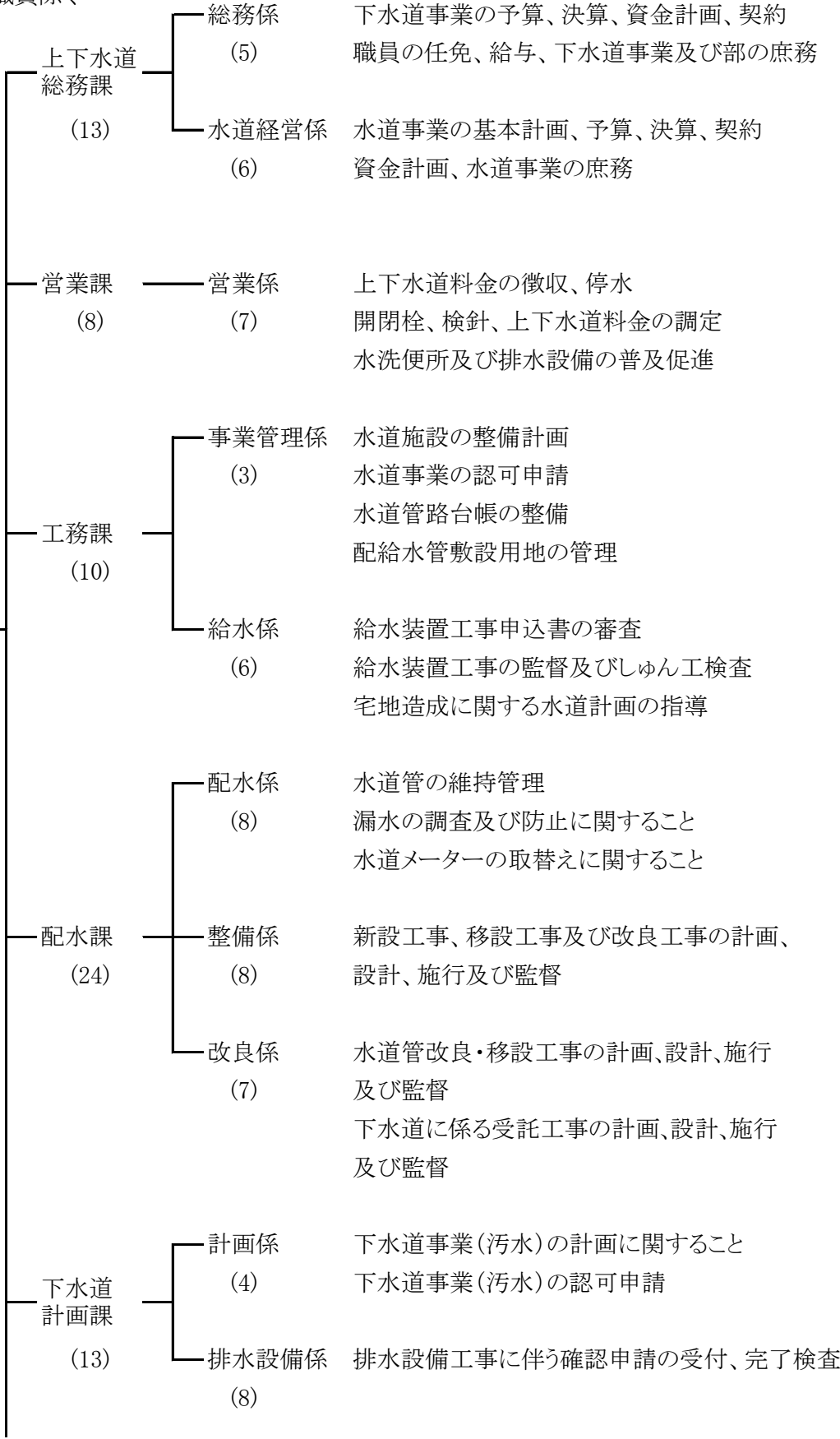
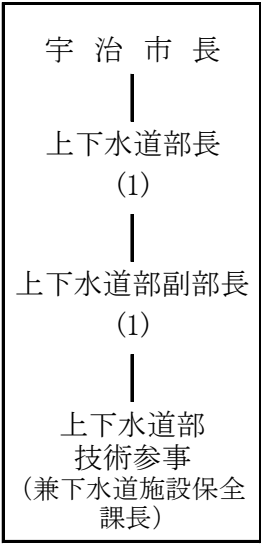
令和元年10月1日以降は表中の定める額に100分の110を乗じて得た額。

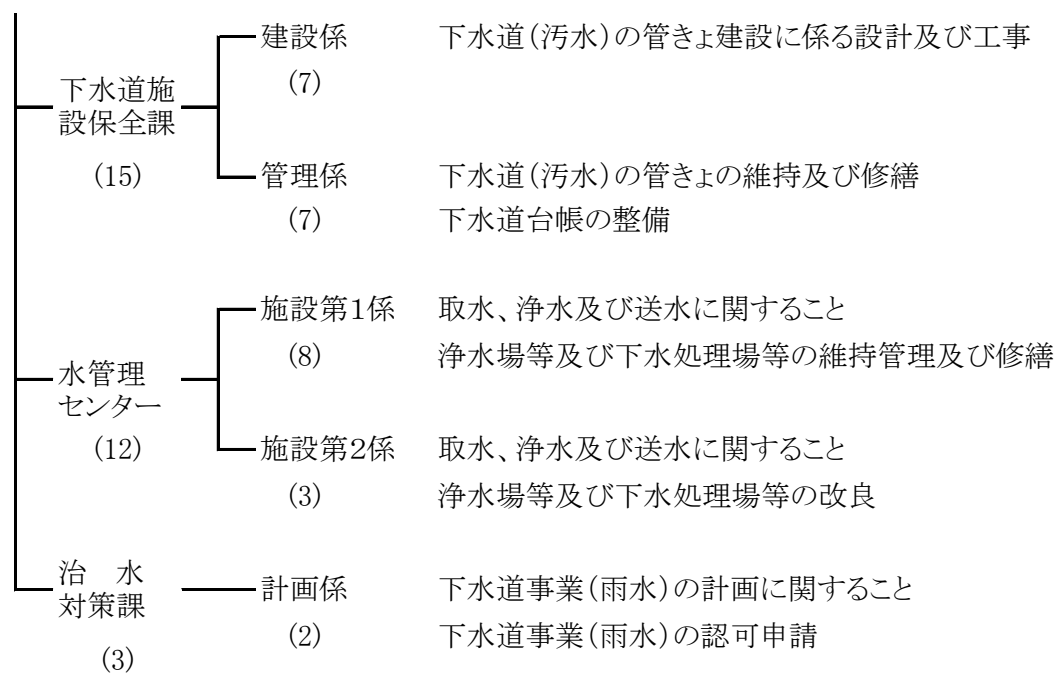
7. 組 織 機 構

【上下水道部】

令和7年4月1日現在

(97人)※併任職員除く





- ※ 1. ()内は職員定数
2. 治水対策課職員は建設部と併任

水 道 統 計 年 報

宇治市上下水道部上下水道総務課

宇治市宇治琵琶4 5 番地の2

TEL 0774-20-8763

FAX 0774-20-8788